

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【346】
2. 日時：令和4年12月20日 13時30分～17時40分
3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
津金主任安全審査官、中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、谷口技術参与

技術基盤グループ

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他9名※

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他7名

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	議事録規制庁のチギラです。それでは、島根原子力発電所 2 号機の設 工認のヒアリングを開始いたします。
0:00:10	本日の説明項目は、
0:00:12	二つございまして一つは、浸水防護施設のコメント回答となります。二つ 目は
0:00:20	耐震強度計算書の防波壁、通路扉。
0:00:24	となります。
0:00:25	それではまず、
0:00:28	前半ということで、浸水防護施設について図面の方お願いしたいんです けど、資料の確認と、
0:00:36	説明方法について説明をお願いします。
0:00:42	はい。中国電力の長田です。
0:00:45	一つ目の浸水防護施設に関しましては資料二つを準備しております。
0:00:52	一番の資料が、N-Sに他 231 回 08 で、
0:01:00	二つ目の資料が、N-Sに、
0:01:04	502708 回、12 です。いずれも 12 月 8 日に提出させていただいているも のになります。
0:01:15	二つ目のヒアリングの方でも同様の名前の資料をご準備しております が、はい。
0:01:23	12 月 8 日の提出分で、最初の浸水防護施設のコメント回答の方をさせ ていただきます。資料の方はよろしいでしょうか。
0:01:32	はい。資料の方は 12 月 8 日提出の資料を使うということで承知しまし た。はい。それでは続きをお願いします。
0:01:41	はい。中国電力の長田です。本日はコメント回答 1 件です。
0:01:48	はい。コメントを。
0:01:50	その回答で説明時間は、
0:01:54	約 5 分程度で、それから質疑の方に入らせていただきたいと思います。 以上です。
0:02:03	はい、規制庁チギラです。はい。説明内容については了解しましたの で、それでは説明の方をお願いします。
0:02:10	はい。中国電力の長田です。それでは説明の方に入らせていただきます 。資料一番の方をお願いいたします。
0:02:20	指摘事項等の回答整理表になりますが、こちらの 5 ページ目をお願い いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:31	はい。
0:02:32	こちらの 7、07 番。
0:02:35	です。いただいているコメントは、
0:02:40	オフガスオフガス系配管と防水液の関係を整理して説明すること。
0:02:45	です。これに対しまして、オフガス系配管を含む復水系では防水影響を貫通する配管について、基準地震動 S_s による地震力に対する耐震性を評価しまして、
0:02:59	防水平均の取水機能が保持できることを、資料の方にまとめて参りましたので、説明をさせていただきます。
0:03:08	それでは二つ目の資料、
0:03:11	2 番。
0:03:12	②の資料の方をお願いいたします。
0:03:15	こちらの通しページで 43 ページをお願いいたします。
0:03:23	はい。43 ページから、2 ポツ 4 ポツ、2 ポツ 3 ということで復水器エリア防水液を貫通する配管の耐震性に関する補足説明ということで、
0:03:33	まとめて参りました。
0:03:36	45 ページ目をお願いいたします。
0:03:40	まず概要ですが、復水器、
0:03:43	復水器エリア紡績を貫通する配管が、基準地震動 S_s による地震力に対して十分な耐性を有することによって、復水器エリア防水液が取水機能を、
0:03:55	維持することを説明するものです。
0:03:58	表 1-1 に、
0:04:01	水系冷房セイキを貫通する配管の
0:04:05	系統名と、耐震重要度分類を記載しております。
0:04:10	2 ポツで一般事項ですが、ここで
0:04:16	配管の
0:04:17	対象配管の配置概要と構造健全性を確保する範囲を、図の 2-1 に示しております。
0:04:25	46 ページ目、図の 2-1 がございます。
0:04:28	こちらに不正経理や、
0:04:31	防水液を赤の太線で示しておりますが、貫通する配管について、
0:04:39	右側に凡例を示しております。ご指摘をいただきましたオフガス系配管は、液体処理、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:48	気体廃棄物処理系ですので、はい。オレンジの配管になりまして、この図の下方にあります。
0:04:57	配管が対象になります。
0:05:00	この色を塗った範囲を、の構造健全性を確認することで、防水液の止水機能を確認いたします。
0:05:08	47 ページ目お願いいたします。こちらが断面図になります。
0:05:15	ご指摘をいただきました配管につきましてはオフガス家へ来てあげる処理系ですので、はい。右側に、
0:05:25	王子FTの 101、iPhone2 というものが対象になっています。
0:05:32	48 ページ目お願いいたします。
0:05:35	3 ポツの評価部位ですが、
0:05:38	館本体等支持構造物を評価部位として選定いたします。
0:05:43	構造健全性を確認する範囲を、図の 3-1 と 3-2 に示します。
0:05:50	ここで配管の構造健全性を確認する範囲は、構造健全性を確保する範囲から一つ先の 2 方向測定までを、
0:06:00	Ss機能維持範囲とします。
0:06:02	49 ページ目お願いいたします。
0:06:05	まず図の 3-1 です。真ん中によるん時で、防水液高さとか記載ありませんがオレンジが防水液です。
0:06:15	この図の 3-1 は高さによる範囲ということで、
0:06:20	防セイキの左側、黄色矢印で、
0:06:25	示した範囲を、成績の維持することによって、万が一は配管が破損しても、
0:06:32	防水液の取水性は維持できるというものでございます。それから下の図の 3-2、こちらはエリアによる範囲ということで、防災ヘリの右側、黄色の
0:06:44	で示した範囲をSs機能維持することによって、これも防水液の取水性を維持できるということで、この二つのパターンに分けて、
0:06:55	評価を実施をいたしました。
0:06:59	それぞれ道外としますか 46 ページを見ていただきますと防水駅の右側か左側かということでご確認いただければと思います。
0:07:09	51 ページ目をお願いいたします。51 ページ目は 4 ポツ 2 で荷重の組み合わせと許容力状態です。52 ページ目に、4 ポツ 3 許容限界。
0:07:20	それから、54 ページ目から、計算方法計算条件を記載しております。
0:07:27	うん突合の計算条件は、評価対象の間のうち、系統単位。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:33	に評価上厳しい解析モデルを代表として以降、鳥瞰図や配管諸元を記載しております。
0:07:43	はい。
0:07:44	55 ページ版でございます 56 ページ目から鳥瞰図を示しております、
0:07:53	71 ページ目からが配管諸元です。
0:07:56	73 ページ目で結果ですけれども事評価結果はこちらに示します通り、
0:08:06	それぞれ協力以下ですので、はい。配管とその支持構造物が構造健全性を有することによって、防水液の
0:08:16	止水性が確保できるということを確認いたしました。説明は以上です。
0:08:25	はい。規制庁の千明です。それでは、今の説明に対して確認する方、お願いします。
0:08:35	規制庁の館です。いろいろと説明ありがとうございました。
0:08:41	考え方はご説明いただいた方がわかるんですけれども、例えば 49 ページですかね図が書いてある図の 3-1 とかずっと 3-2 とか、
0:08:54	いうところなんですけれども、
0:08:56	へえ。
0:08:58	例えば図の 3-1 だとね浸水防護重点化範囲において黄色の部分については、要は、
0:09:10	高さによるはいいや要はここからこの配管の部分から漏れさせないっていうそういう考え方でいいんですかね例えば、図の 1 だと。
0:09:19	そういう考え方でいいですか。
0:09:21	はい。中国で。中国電力の永田です。はい、ご指摘の通りです。以上です。はい。規制庁と安達層と図の 3-2 は、
0:09:31	水アノすいません浸水防護重点化範囲外のところで漏れこませないというそういう考え方になるということでもいいですかね。
0:09:43	はい中国電力の長田です。はい。不正経理アガワをバウンダリ維持しまして、はい復水器エリアの水が
0:09:52	浸水防護重点化範囲左側の範囲に行かないようにしているというものでございます以上です。
0:09:58	うん。
0:10:00	それでちょっとね、規制庁タダウチです確認したいんですけどただ、例えばね、図の 3-1 では右っかわのうところのは、重点化範囲外のところから、
0:10:13	盛り込ませない配管の中に、要は、
0:10:17	あれなのかな、これは遺憾なのかな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:19	すいません、ちょっともう1回ごめんなさい、図の3-2の方なんですけれども、
0:10:24	これは申請しているところから配管の中に漏れ込ませないってそういう子、そういう考え方、それとも堰を乗り越えないっていう考え方この考え方は、どちらですかね。
0:10:38	はい。中国電力の長田です。浸水している範囲で、配管の中に漏れ、漏れ込ませないという考え方でございます。以上です。
0:10:48	規制庁タダウチそうすると3図の3-2は配管の中に盛り込ませないようにして、
0:10:54	浸水防護重点化範囲のところは、万が一壊れても進入させないからここに水が入らないというそういう考え方でいいですか。
0:11:04	はい。中国電力の長田です。ご理解いただいた通りでございます。以上です。
0:11:10	そうすると、ちょっとよく、どうしてこの組み合わせだけを考えるのかがよくわからないんですが、例えば図の3-1でも配管の中に盛り込ませないようにしたりとか、
0:11:21	03-2でも左側のところを漏れいさせないような形にするとか、そういう考え方も何かあるっじゃあるのかなってまあ、
0:11:32	確かにこの方法であれば、そうなのかもしれないんだけど、
0:11:36	これ、これをそれぞれこういうふうにするやり方をとるのは何か理由があるんですかね。
0:11:44	はい。中国電力の長田です。はいご指摘いただきました通り配管によってですね図の3-1のように
0:11:53	鉛直方向に立ち上がっているものとか、ほぼもうほとんど水平に、
0:11:59	走ってるもの図の3-2です。
0:12:04	もともとBCクラス配管ということもありまして、はい。
0:12:10	評価範囲、補強範囲等を検討する上で、それぞれ配管のルーティングに応じまして、この二つのバウンダリの維持の仕方を、
0:12:21	それぞれ選択したと、そういうものでございます。以上です。
0:12:26	すいません規制庁タダウチでございますが、その範囲内においてどうのこうのするって話も理解はできるんですけど、そのそもそもの根本的な考え方として、
0:12:38	要は必要な配管から漏れいさせませんという方法と、必要なところに流入させないように、低クラスの配管の中に漏れ込ませないっていうそういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:52	二つの考え方ですよねだから、
0:12:55	いわゆる何でしょう、流入経路となり得るような低クラス配管のところにもらい漏れ込ませないのか、漏れ出さないのか、それをどう選択するかって話なんですけれども。
0:13:11	そういった意味では、これはそれぞれをエリアによって、今の盛り込ませるのと漏れこませ、流入、流出させないのと流入させないを使い分けるってそういうことでいいんですかね。
0:13:25	はい、中国電力の長田ですご理解の通りですもう少し、ちょっと前段から説明いたしますと、まず、水系配管につきましてはBCクラスのもの
0:13:37	は、 内部溢水の方で壊れるものは壊れるとしてその内包水を流出させる評価をしております。
0:13:45	壊れないものは、1 制限としないBCクラスの、はい、はい関係でまた別途耐震計算書のご説明がございます。今回は防水液を貫通する。
0:13:58	配管について、内部配管の内部流体が、
0:14:03	盛り込むかというのは
0:14:06	ご説明させていただいた通りで別のところで説明になりまして、今回は、復セイキエリアにたまった水が、
0:14:16	左側のこの 49 ページで言いますと左側の浸水防護重点化範囲に活かさないという観点でのご説明をさせていただいているというものでございます。以上です。
0:14:28	はい、規制庁タダウチです何となく、
0:14:33	それで一応成立はしそうだなというところで理解はしたんですけれども。
0:14:38	何となくこのエリア等、そこら辺の組み合わせの考え方を少しもうちよっと整理したほうがいいのかなあ。
0:14:51	ちょっと文章を読んでいると相互そのものそこら辺の考え方があんまりちょっとスツと入ってこないんですみませんもう 1 回ちょっと私の方でも、
0:15:01	読みますが、図で大体イメージはわかったんで、理解しましたそれともう一つだけちょっと確認をさせてください。
0:15:08	これは、例えば配管には弁がついてる場合があるんですけれども、その弁かなんかで範囲を区切るとかそういうものがあったりするんですかね。
0:15:20	これはエント例えばオフガス系だと、最終的には外まで行ってるような配管にはなるんだけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:28	どこまでの範囲を対象とするかってのはこれこれ例えば図の 3-1 と言うと、高さ方向で区切れるうから多分、それぞれ以上はいいよねなんて話にはなっちゃうんだけれどもじゃ、
0:15:41	下の方はずーっと永遠と、どっか、この浸水、
0:15:48	高さ予定するため想定される高さよりも下のところは、弁のあるなしに関係なくすべて盛り込ませないとか、
0:15:58	そういったことをやったりするんですか、そこら辺の考え方を教えてください。
0:16:03	はい。中国電力の永田です。はい、ご指摘の通りでございます
0:16:08	弁で仕切ってるものもございます 46 ページ目をご覧ください。
0:16:14	図の 2-1 ですけれども、
0:16:17	こちらですね、
0:16:20	図面の番地で言いますと、まず左側のTAF通りの間、それから縦軸の P-11 と 12 の間、
0:16:32	2、青い線でFPハイフォンT-102 というものがございしますが、こちらのFPですので消火系ですけれども、
0:16:42	はい弁がありますので、特に閉止弁というコツ記載をしています。このようなものは、壁から右側の連までを、
0:16:54	結節機能維持することによってこの弁が閉まっておりますので、そこまでを
0:17:01	定性的に確認することによって、浸水防護重点化範囲側に漏れ出ないというような評価にしております。以上です。
0:17:10	規制庁トダテそうすると弁も当然成績の維持っていうことにしますよって話だと配管だけじゃなくってそこら辺の機器はシステムの構成するもの。
0:17:21	すべて含めて、例えば、必要な耐震性を持たせましてそういう考え方になるってことでいいですね。
0:17:31	はい。中国電力の長田です。ご理解の通りでございます。以上です。
0:17:36	そうするとだから弁で区切れない限りにおいては永遠と弁があるところまでそういった対象範囲になってしまうかもしれないってそういうことになるんですか。
0:17:47	はい。中国電力の長田ですご指摘の通りですですので、先ほどもありましたようにオフガス系配管とかは、排気塔側にどンドン、
0:17:58	伸びてますけれども、その場合は、復水器エリア側をすべてSs機能維持にしまった方がいいというような考えで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:09	評価範囲を決めています。以上です。規制庁タダウチそうすると例えば、さっきの盛り込むとか漏れ出すみたいな話についても例えば盛り込む配管内に盛り込むって話になると、
0:18:20	例えばそういったオクがE付近までね例えば弁がなしで配管がずっとあるようなものについてはそういったものはもうを盛り込ませない対策をしますとかね、おそらくそういった考え方もあるのかなと思ってさっきの話をちょっと聞いてみたんですけれども。
0:18:35	そこら辺のところは、やっぱり配管の敷設状況と、要はあとは機能としてのね性質の中に液体を内包してんのか北井off内包してんのかそこら辺の、
0:18:47	系統上の、要は、性質とか構成とかそういったものによっても、どういった対策をするのかっていうところが、何となく決まってくるような気もするんですけれども。
0:18:57	丹治だから、エリアだけで決めてるってわけではないのではないかなっていう気がするんですがそこら辺の点はいかがでしょうか。
0:19:06	はい。中国電力の永田です。はい。ない方、ない、内部流体等につきましては先ほどちょっとご説明させていただきましたが、
0:19:16	漏れ出るものは各エリアで、漏れ出るというような評価を事前にしておりますので今回は、どちらかと言いますと配管の
0:19:25	敷設状況ですね特にご指摘いただきましたように、水平配管なのか立ち上がりなのかというところが、補強範囲を補強評価範囲を決めるという観点で、
0:19:37	はい。一番効いてくるところになります。以上です。
0:19:42	はい。規制庁多田です。はい。そこら辺の考え方は理解しました。
0:19:46	もう一つだけちょっと教えてください。今ここ復水器エリアなんだけれども、例えば、この系統が復セイキエリア外のところについて、どうなってるのかっていうそういうところの確認も行って対応するっていう形なんですかね。
0:20:04	はい。中国電力の長田です。はい。複製系エリア外の配管ルーティングを見て、はい。どちらを。
0:20:14	どのように評価すべきかということで決めて、
0:20:19	評価範囲を決めております。
0:20:22	以上です。はい、規制庁大丈夫で、ちょっと今僕が最終的に言いたかったのはここ以外のところの浸水防護重点化範囲についても、同様の系統が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:33	あたりして、
0:20:34	対策が必要なところはないですか。
0:20:37	最終的な質問になるんですけども、
0:20:45	はい、中国電力の長田です
0:20:49	津波が内郭防護として津波が流入する津波はすいませんインターロック等で止めますけれども、内郭防護で津波として評価する範囲、
0:21:02	はこの復水経路は、
0:21:05	に、水の水を考慮しますので、はい。この復水器エリアでの評価というふうになります。以上です。
0:21:14	はい。対津波ということでは理解しました。片や雨水防護の方は8階の方でよく確認をしていただければと思います以上です。
0:21:30	他、
0:21:44	規制庁のハトリです私からもちょっと、
0:21:47	タダウチの確認とダブるところがあるんですけど、もう1回ちょっと念のために確認をさせてください。
0:21:53	49 ページの、
0:21:56	図の3-2について、
0:21:59	この青いところ2、
0:22:01	ある水というのは、これは津波の水ということによろしいですよどうぞ。
0:22:08	中国電力の長田です少しちょっと説明が複雑になりますけれども
0:22:14	津津波という観点ではアノ到達までに、
0:22:20	インターロック等でガイカイ等は遮断をいたしますので、
0:22:28	当社で言いますと登園
0:22:30	日本海桃園とかアノ会活断層の津波が、
0:22:34	直接入ってくるものではございませんが津波のガイドに従いまして、
0:22:39	浸水防護重点化範囲との境界を対策するという観点で、地震による損傷も考慮したときに、
0:22:50	復水器エリアが
0:22:54	津波の津波としてのガイドの範囲で
0:22:58	浸水を考える範囲になるということでここを評価対象としているということでございます。以上です。
0:23:05	規制庁の服部です。
0:23:07	私の認識では、
0:23:10	復水器エリアにたまる水というのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:15	津波の水という認識でいますというのは、
0:23:19	結局、復水器水室出口イベントカー、
0:23:23	9 循環水ポンプ、
0:23:26	デブ、出入口弁、これは浸水防止設備ではなくてあくまでも溢水対策。
0:23:32	ということなので、
0:23:34	綱ミイ米、
0:23:38	津波の量を途中でそれで止めるというのはあるんですけども、
0:23:43	復水器エリアには津波の水が入ってくると。
0:23:46	なので、津波の水を充填中、
0:23:52	浸水防護重点化範囲に行かせないために、復水系りや防水駅というのは、浸水防止設備になっていると。
0:24:00	ということと理解しています。もし、
0:24:04	その復水器エリアにたまる水が、津波の水でなければ、
0:24:08	浸水防護、ごめんなさい、復水系や防水比木というのは、浸水防護浸水防止設備にならなくてもいいはずなので、
0:24:22	浸水防止設備になってるということは逆に言うと、ここに溜まってる水が津波の水、松波の水が入っているということで理解をしてるんですが、この理解は違ってるとはでしょうかどうぞ。
0:24:38	中国電力の長田です少々お待ちください。
0:25:23	はい。中国電力の長田です。
0:25:26	はい。先ほど申しあげましたのは実際に津波が、
0:25:32	津波の水が実際にそこに入ってるかどうか、入ってくるかどうかという観点で、
0:25:39	ご説明させていただきました。ただ
0:25:43	浸水防護重点化範囲等の境界という観点で、直接の津波の水ではございませんけれども、Sクラスとの、すいません浸水防護重点化範囲Sクラス設置エリアとの境界ということで、
0:25:57	浸水防護重点化範囲にすると。
0:26:01	失礼いたします浸水浸水防止、ゴシツ防止設備にするということですので、はい。後半の部分は服部さんご説明いただいた内容で、
0:26:14	認識は一致しているというふうに考えています。以上です。
0:26:20	規制庁の規制庁の服部です。すいませんちょっと私の認識が違うのかもしれないんですが、
0:26:26	例えば、
0:26:28	タービン補機海水タービン補機系の海水系配管が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:34	西側のSクラスエリアにありますと。
0:26:37	でもそう。そのエリアにある配管っていうのは、
0:26:42	たとえ想定耐震クラスなんですけども、損傷して水が漏れたとしても、
0:26:47	津波が来る前に、タービン補機海水出口弁で津波の流入を防止するので、
0:26:54	そこから漏れる水というのはあくまでも津波の水ではないので、溢水だけ、水の問題ですということになったと思います。なので、その水は、認識、
0:27:06	S西側のSクラスエリアに幾ら漏れても構いませんと。
0:27:11	イスイの方で実、
0:27:15	安全性を確認しているので、
0:27:17	一方で、
0:27:19	復水器エリアにたまる水というのは、
0:27:22	西側のSクラスエリアには漏れてはいけないので、
0:27:26	いけないと。
0:27:28	ので、復水系や紡績を立てますと、
0:27:31	ということで、なぜ漏れてはいけないかという、
0:27:35	津波の
0:27:40	ケアの津波による水がその中に含まれてるからというような認識だったんですけど、
0:27:47	もしも、
0:27:48	ここの復籍エリアにたまる水が、に津波の水がは、
0:27:54	含まれていなければ、
0:27:55	西側のSクラスエリアに、
0:27:59	たとえその水が漏れたとしても、そこにある機器というのはあくまでも静的機器なので、
0:28:05	水圧で押しつぶされることはないので健全であるというそのイスイ側の評価。
0:28:13	に含まれるということだと思んですがいかがですか。
0:28:19	中国電力の田村です。
0:28:24	鳥居さんが言われたその津波水って、津波の水っていう定義によるんですけど、
0:28:32	ちょっと言い方があるんですけど、
0:28:36	服部さんが理解されてるので多分、服部さんが定義してる津波の水っていうのを理解したところによるとハットリさんの理解で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:46	いいように思いました。実質は津波の水ではない。
0:28:52	んですけど、
0:28:53	浸水防護重点化範囲の境界をSクラスとするということで、
0:28:57	この壁をSクラスにしている、それを
0:29:03	そこに来る水という意味でハトリさんは津波の水って、実際は津波に来る前のポンプから出る水ですけどそう言われてるバウンダリーをどこにとるかっていうことと言われてるんだと理解しましたので、そういう意味では、
0:29:15	ご理解の通りだと思いましたが以上です。
0:29:23	規制庁の服部ですはいちょっと私が聞いたかったのは、すみませんちょっと全然話が違うんですけど。
0:29:31	図3-2。
0:29:33	配管系の構造健全性を隠す範囲という。
0:29:39	ところが損傷すると。
0:29:44	48ページにあるのは、復水系では防水撃が止水機能を維持するためにはというところなので、
0:29:51	その止水機能というのはあくまでもこの貫通部のところなのかなと思ったんですが、
0:29:56	この止水機能というのは、維持するためには、
0:29:59	というのは、
0:30:01	先ほどタダウチからも少しありましたように、
0:30:04	この防水液の高さを超えてくるのも止水軌道に入ってるんでしょうか。どうぞ。
0:30:18	はい、中国電力の長田です。
0:30:24	はい。ご指摘の件は、配管系がどういう小低耐震クラスですのでどういう壊れ方をするかわからないという、いう前提に立ちますと、はい配管の
0:30:37	バウンダリー維持することによって、
0:30:41	浸水防護重点化範囲に水を生かせないというご説明でございます
0:30:47	ちょっと後半におっしゃられました高さという観点をもう一度補足していただけないでしょうか。
0:30:55	規制庁の服部ですすみません。
0:30:57	図の3-2のところの配管系の構造健全性を確保するエリア格する範囲がたとえもし損傷したとすると、
0:31:08	復水器エリアに水が漏れるということですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:11	どうぞ。
0:31:18	はい、中国電力の永田です。
0:31:22	例えば今回ご指摘いただきましたような
0:31:25	オフガス系配管ですと、
0:31:29	間中脇田イデ、
0:31:31	この
0:31:34	薄井経理や、
0:31:36	配管が損傷しますと、配管の壊れ方によっては左側の
0:31:44	浸水防護重点化範囲に、配管の中を通っていつてしまうかもしれないと いうことでバウンダリを維持す。
0:31:52	できることを確認したというのが今回の説明でございます。以上です。
0:31:58	規制庁の服部ですあ、すいませんちょっと勘違いしてるんですね、あくま でもこの福セイキエリア。
0:32:05	の、にたまった水が浸水防護重点化範囲に漏れるというわけことを想定 してるというわけではないということですね。
0:32:23	中国電力のナガタです少々お待ちください。
0:32:40	はい。中国電力の長田です。49 ページの図の 3-2 で、黄色の矢印で 示している範囲、
0:32:50	が、
0:32:53	Ss機能維持、
0:32:56	中国電力すいません。少々、長田さん少々お待ちください。こちらで話し しておりますので、
0:33:08	規制庁のハツトリでちょっとすいません私の理解がちょっと進んでないん ですけど、
0:33:15	すみません、図の 3-2 のところその左側の浸水防護重点化範囲のと ころもう、その健全性を確保すれば話はわかるんですけど、
0:33:27	復籍エリアだけを、
0:33:29	健全性を確保すればいいんですか。
0:33:38	あ、はい。中国電力の長田です。例えば、この 49 ページの図の 3-2 で、
0:33:47	もし黄色で、
0:33:50	矢印を、
0:33:51	している範囲、ここが、
0:33:53	壊れて、そして浸水防護重点化範囲の方の配管も壊れてしまうことを考 えると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:01	配管の中を通過して水が、浸水防護重点化員の方に行ってしまいますので、そういうことを考えると、
0:34:11	この簿図の 3-2 ですと右側の黄色の範囲。
0:34:15	水がたまってくる範囲さえ、
0:34:19	バウンダリを維持しておけば、浸水防護重点化左側には、配管の中を通過していかないだろうということでのご説明です。以上です。規制庁の服部です。はいわかりましたちょっとここでちょっと終わり、終わりにします。ありがとうございました。
0:34:48	いいですか。
0:34:51	はい、規制庁チギラです他、よろしいですか。
0:34:59	当規制庁の堀野ですけど、あの日、
0:35:02	質問だけなんですけど 73 ページに、
0:35:05	評価結果が載ってますけども、
0:35:08	配管本体が一次+2、二次だけ。
0:35:12	の評価になってるんですけども、一次の評価が載ってないのはどういうことなのか教えていただけますか。
0:35:24	中国電力の石井です。はい。結論としてはどちらも評価をしているんですが、一次+二次が厳しい評価となっていますので、今回一次+二次の評価を載せています。
0:35:36	なお、要因としましてはですね、基本的に今回、
0:35:40	圧力がかからない配管だとか、地震工以外の
0:35:45	応力だとかモーメントが低い配管となりますので基本的に一次+二次が優位な厳しい結果となります。以上です。
0:35:57	規制庁堀野です。了解しました。
0:35:59	私からは以上です。
0:36:04	はい。規制庁寺井です。他よろしいでしょうか。
0:36:08	はい。
0:36:11	はい。それでは、前半、一部については、以上としたいと思います。ちょっと人の入れ替えとかあるので、一旦ここで休憩に入りたいと思います。
一時中断	
0:00:01	はい、規制庁チギラです。それでは第二部の方、耐震強度計算上の防波壁通路扉についてですね、説明の方をお願いいたします。
0:00:13	はい。中国電力のセイキです。資料の裁判の方からさせていただきます。先ほど一部からの続きということで、資料ナンバー3番として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:23	コメント回答整理表、
0:00:25	資料ナンバー4番としまして、防波扉の耐震性についての計算書、
0:00:31	資料ナンバー5番としまして、防波扉の強度計算書、
0:00:35	資料ナンバー6番としまして、補足説明資料とさせていただきます。
0:00:40	説明につきましては、
0:00:43	新規の説明として30分程度と予定しております。コメント回答の内容につきましても、新規説明の方に含まれる内容となりますのでそちらの方であわせて説明させていただきたいと考えております。以上です。
0:00:57	はい。規制庁知久です。説明の方法については、わかりました。それでは、説明の方お願いいたします。
0:01:07	中国電力の木村です。今回の説明に当たりまして、耐震強度計算書の内容はどちらも各補足説明資料に含まれておりますので、今回は補足説明資料を用いて、
0:01:17	ご説明させていただきます。資料番号⑥をお願いいたします。
0:01:28	通し番号3ページお願いいたします。
0:01:35	私からは、2ポツ2ポツ1、
0:01:38	2ポツ2ポツ2及び参考資料1として、防波扉1号機北側2号機北側についての記載についてご説明いたします。
0:01:50	通し番号4ページご覧ください。
0:01:56	まず最初に、2ポツ2ポツ1、防波壁通路防波扉1号キタザワ2号機北側の耐震性についての計算書に関する補足説明についてご説明いたします。
0:02:09	9ページご覧ください。
0:02:15	こちら、既設の大型防波扉があった部分につきまして、そちらを閉塞して小型なものを設置いたします。構造の概要を図2ポツ2-2及び図2ポツ2-3に示しております。
0:02:29	こちら構造の詳細につきましては参考資料1の方にて説明いたします。
0:02:35	11ページご覧ください。
0:02:41	2ポツの3に構造計画を示しております。防波扉の構造計画を表2ポツ3-1に示しております。こちらですが、先日ご説明いたしました水密扉と同様の構造となっておりますので、詳細については割愛させていただきます。
0:02:57	12ページご覧ください。
0:03:03	こちら防波扉の表、耐震評価フローについてお示しております。フロー図2ポツ4-1に示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:12	耐震評価に使用しました設計用地震力につきましては、防波扉、防波壁、多重、鋼管杭式擁壁の地震応答計算書より設定しております。
0:03:27	通しの 20 ページご覧ください。
0:03:34	こちらで、今回の耐震評価に用いました荷重及び荷重の組み合わせについてご説明しております。
0:03:41	今回荷重として設定したのは、扉の固定荷重、
0:03:44	そして風荷重、
0:03:46	そして基準地震動 S_s による地震荷重としております。
0:03:52	はい。
0:03:54	当初は 36 ページご覧ください。
0:04:04	6 ポツとしては、今回の耐震評価の結果をお示しております。評価対象部位、
0:04:10	として、ヒンジ部の中で貧地盤ヒンジピンヒンジボルト、そして門、アンカーボルトを挙げております。最大の評価結果となったのは、
0:04:21	ヒンジ品の組み合わせ応力度による評価で値が 0.29 というふうになっております。
0:04:29	続いて 37 ページご覧ください。
0:04:34	防波壁通路防波扉 1 号木谷郷北野共同計算について、今度ご説明いたします。
0:04:40	構造概要等につきましては耐震計算と同様のものですので、割愛させていただきます。
0:04:50	通しの 49 ページをお願いいたします。
0:04:57	3 ポツに、荷重及び荷重の組み合わせで、今回の共同計算に使用しました荷重についてご説明しております。
0:05:04	遡上津波荷重の算定に当たりまして、設計を、津波水位をEL1012.6 メーターとした時に、朝倉式による水頭高さは、5.15 メートル。
0:05:15	それを津波荷重の作用高さ上端は、14.65 メートルとなります。
0:05:19	この荷重を防波扉の設置高さ 9.5 メートルから、天端の 11.65 メートルまでの間に作用させることとしております。
0:05:30	50 ページご覧ください。
0:05:36	3 ポツ 2 ポツに荷重の組み合わせとして、今回防波扉、1 号機北及び 2 号機北側の共同評価に用いる荷重として、遡上津波荷重PTのみを作用させることとしております。
0:05:48	漂流物衝突荷重を考慮しないことについては、参考資料 1 の方にて別途ご説明しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:57	通しの 64 ページご覧ください。
0:06:08	4 ポツ評価結果としまして、今回の強度評価の結果についてお示しております。
0:06:13	共同評価の対象評価部材は、扉板、心材、門、アンカーボルトとなっており、評価結果の最大となっておりますのは、扉板の曲げ応力度による評価で、値は 0.27 というふうになっております。
0:06:28	続いて防波壁通路防波扉 1 号機、2 号機の構造変更について、参考資料 1 を用いてご説明いたします。通しの 597 ページご覧ください。
0:06:51	こちらに参考資料 1 として、防波扉 1 号北側 2 号北側の構造変更各小型化についてというものをご用意しております。
0:07:00	津波防護施設のうち、防波扉防波壁通路防波扉 1 号北側 2 号北側については、これまで設置していた大型の防波扉を小型の防波扉に変更し、漁船等の漂流物が、
0:07:11	防波扉に直接衝突しない構造へと変更しております。
0:07:16	また、大型の防波扉が設置されていた区間の一部を閉塞するにあたっては、防波壁、多重鋼管杭式擁壁のた断面と同様に、多重高架下を設置し、コンクリートで被覆する構造をとっております。
0:07:29	構造変更に伴う開口部の前後比較を表 1-1 に、変更後の防波壁通路防波扉の概要増、図 1-2 及び 1-3 に示しております。
0:07:46	601 ページをお願いいたします。
0:07:53	大型の防波扉が設置されていた区間の一部を閉塞するに当たりまして、防波扉多重鋼管杭式擁壁のタダン面と同様に、多重鋼管杭を設置しまして、コンクリートで被覆する構造をとります。
0:08:05	開口補強としては、コンクリート標準示方書の下、開口部周辺の補強の考え方に従いまして、開口部を設けるために設置できなくなった鉄筋と同等以上の鉄筋を周囲に配置することとしました。
0:08:18	開口補強に伴う配筋図を図 2-2 に示しております。
0:08:25	以上で、防波壁通路防波扉 1 号機北側 2 号機北側についての説明を終わります。防波壁通路防波扉に揚場ミナミ及び 3 号東につきましては、担当を交代してご説明いたします。
0:08:42	中国電力の小田です。続きまして同じく資料 6 の補説を用いまして防波扉のエミヤギはミナミ 3 号機東側の耐震計算及び共同計算についてご説明いたします。
0:08:55	その後コメントがポイント街道が三つありますのでそのご回答内容についてご説明します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:01	まず通しページ 3 ページお願いします。
0:09:06	こちらの 2 ポツ 2 ポツ 3 から 2 ポツ 2 ポツ 6 が該当の資料でございますが、
0:09:11	値上はミナミで詳細をご説明し、3 号は 3 号機東側構造と調査結果のみご説明いたします。
0:09:18	その後参考資料 2 以降についてもご説明します。
0:09:22	69 ページお願いします。
0:09:29	こちらの下図 2 ポツ 2-1 に、防波扉にヤギやミナミの構造概要図をお示ししております。
0:09:36	黄色が額を示しています。
0:09:39	防波扉にヤギミナミはSクラス施設である津波防護施設に分類されます。
0:09:44	また漂流物対策により、防波堤ラーニングセンターの漂流物が仕事、直接衝突しない構造とした、します。
0:09:51	防波扉の構成額と当たり基礎スラブは図に示すように、鋼管杭により岩盤に支持される構造とします。
0:09:58	防波扉で構成したいと、あと当たり及び基礎スラブとの間には、水密ゴムを設置止水性を確保します。
0:10:06	一方漂流物対策については、構成したイトウあたり基礎スラブから構成されまして、これをマーメイドロックMMRを介して岩盤に支持されます。
0:10:16	78 ページをお願いします。
0:10:22	こちらに評価方針を示しておりますが、防波扉の耐震評価は、地震応答解析結果に基づきまして、設計基準対象施設として、以降の表に示す通り、施設地盤の健全性及び、
0:10:35	基礎地盤の支持性能評価を行います。なお、防波扉及び漂流物対策につきましては、閉状態を対象に耐震と耐津波評価を行います。
0:10:44	地震応答解析結果の評価方法についてご説明します。98 ページをお願いします。
0:10:55	こちらの図に評価対象断面をお示しております。防波扉にヤギやミナミのタイ評価対象断面は、構造上の特徴を踏まえまして、相対的に断面係数の大きい額軸猪、
0:11:05	気体軸方向が教授クダウン方向となるため、弱軸方向となる防火扉及び漂流対策コウノ額額軸直交方向に加振した場合の影響を評価いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:16	こちらの図に断面位置を示しております、赤色が主体の位置を示しており、直行方向に直交方向を通る断面を設置しております。
0:11:26	102 ページをお願いします。
0:11:31	こちらに解析ケースを示しております。
0:11:34	第 6 回補正の計算書では、①の基本ケースのみを示し、お示していましたが、今回の説では②と③のばらつきSを追加して、照査値を確認、調査結果を確認しております。
0:11:45	所達には大きな変更はありませんが、こちらについても本今回計算書にその結果を反映しております。
0:11:53	118 ページをお願いします。
0:11:59	こちらに解析モデルをお示しております。こちらの 5 モデルが防波扉にアガワミナミの解析モデルになっております。
0:12:08	防波扉と漂流物対策法の前後に、埋戻し度が分布しております、防波堤の直下には、改良地盤①から③。漂流物対策工直下にはMMRがモデル化されております。
0:12:20	構造物のモデル化については、102、121 ページをお願いします。
0:12:27	(3)で構造物のモデル化について示しております。基礎スラブ及び安部畑村の基礎スラブ及び鋼管杭は、先期梁要素でモデル化しまして、構成自体は付加重量として考慮します。
0:12:38	漂流対策能登あたりは線形梁要素でモデル化し、構成自体は付加重量として考慮します。
0:12:45	基礎スラブは平面ひずみ要素としてモデル化し、辺りとの接続、接続については 5 原予想を設けております。
0:12:53	145 ページをお願いします。
0:13:04	評価方法についてご説明します。防波扉及び漂流対策工は、構成主体とその他のRC部材と、評価方法が異なります。
0:13:14	構成額は地震応答解析結果に基づきましてせ設計震度を設定した上で、江田尾関の技術基準に基づきまして、保育算定式により評価しております。
0:13:25	丹羽ミナミにつきましては部材は、額、括弧仕様コウゲた、補助立てた柱でげた車輪レールロック装置 4 月版及び藤あたり並びに大畠理学博士主としております。
0:13:39	その他の部材、RCC中や基礎スラブにつきましてはFLIPから算定した段メイク等により調査します。
0:13:46	181 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:54	こちらに耐震評価結果、耐震評価結果についてご説明します。
0:13:59	まずばらつきケースの選定についてですが、こちらの表にお示している通り、2 アガワミナミでは、RCC中スラブ鋼管杭基礎地盤で照査値 0.5 を超えなかったため、
0:14:10	せん断で最も厳しくなったSs-D-1 を選定しております。
0:14:16	184 ページをお願いします。
0:14:24	こちらには、防波扉構成額及び当貸等辺りについて設計用地震力をお示しております。
0:14:32	防波扉につきましては、構成比の固有振動数が 20Hz以上であることを確認したため、耐震に用いる値シンゲンサイを用いる設計震度は、表にお示している通り、
0:14:42	設計震度は、最大応答加速度が算出される水平振動及び鉛直震度よりご指摘に設定しております。
0:14:49	185 ページをお願いします。
0:14:53	こちらがその設計士の用いた耐震評価になります。
0:14:57	防波堤や構成ヒダにつきましては、最も評価が厳しくなったのは、車輪軸でございまして、曲げ応力度で照査値 0.793 が出ております。
0:15:06	こちらを見てわかりますように鉛直荷重を負担する部材で比較的人たちが大きくなっております。ただ許容限界は上回っており、いないことを確認できました。
0:15:16	204 ページをお願いします。
0:15:24	こちらは漂流物対策高橋セイキタイの調査結果になります。
0:15:28	こちらも同様に設計震度で与えて耐震評価をしております。もっと照査値が大きかったのは市かぶしショウガンかコンクリートでございまして、市圧力で、739 となっておりますが、協力度は超えておりません。
0:15:42	209 ページをお願いします。
0:15:47	こちらが漂流対策コウノ香セイキタイ以外の部材で一番大きかった人たちを示しております。所達の断面力図を示しております。
0:15:58	漂流物対策工については、RC支柱のせん断で最も厳しくなっておりまして、こちらに断面力図を示しておりますが、RCC中のネモト部分で最大値が出ておりますが、
0:16:09	照査値は 0.451 で十分裕度がある結果となっております。
0:16:14	ミヤジマ耐震については以上で、共同計算の方に移らせていただきます。
0:16:19	255 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:27	こちらにエミヤギはミナミの強度計算の解析方法をお示しております。
0:16:31	津波時に発生する応答値は、荷重及び荷重の組み合わせに基づく荷重を作用させて、応力算定式または2次元静的有限要素法により算定します。
0:16:41	衝突荷重につきましては、入力津波高さに参照する裕度を加えた12.6メートルの高さに作用させます。
0:16:49	258ページをお願いします。
0:16:52	これらの荷重の中で遡上津波荷重と衝突荷重についてご説明します。
0:16:57	遡上津波荷重は防波壁と同様に朝倉式に売って設置しております。
0:17:02	津波の水位と、設置高さの差分の2分の1を浸水しまして、その3倍で最後通説として算定しております。
0:17:09	なお遡上津波荷重は防ハットリアトベ対策コウノ両方に算定した水圧が作用するものとして考慮しております。
0:17:17	下の(5)の衝突荷重についてですが、衝突荷重は19t漁船を選定しまして少量対策を全体に作用するものとして設定しております。
0:17:27	衝突荷重は漂流対策工の延長が約14メートルであることから、設計平均設計用平均荷重の420kNパーメートルを上回る荷重として483kNパーメートル。
0:17:39	を共同計算において公表しております。
0:17:42	なお局所的な荷重の影響につきましては参考資料6でご説明します。
0:17:47	1ページの259ページをお願いします。
0:17:54	こちらに漂流物対策における衝突荷重の作用図を示しております。
0:17:59	荷重分散を考慮しないため、漂流対策コウノ12.6メートル高さに衝突荷重を入力しております。
0:18:05	ただ今回の設定では、漂流物が次第を介しましてRCC中に作用するショウジュさ中が、適切に考慮できておりませんでした。申し訳ございません。
0:18:15	次回の設定を見直した結果を後、ご説明させていただきます。
0:18:19	なお所達については後程ご説明いたしますが、RCC中基礎スラブでは大きな裕度がある結果となっておりますので、構造健全性に影響ないとは考えております。
0:18:31	313ページをお願いします。
0:18:42	こちらが共同計算の結果のうち、漂流対策コウノ構成比についてお示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:48	構成額では最も調査が厳しくなったのが、当たりコンクリートでして、せん断オクで、人達 0.5 が出ておりますが、許容限界を超えておりません。
0:18:58	315 ページお願いします。
0:19:03	構成比が額以外につきましては、最も所達が大きかったのが、
0:19:07	戸当たりRC主治医のせん断調査でして、インダ値は 0.34 となっております。
0:19:14	次に 3 号費、3 号機東側について説明します。326 ページをお願いします。
0:19:25	こちらに 3 号機東側の構造概要図をお示しております。
0:19:30	荷揚げ場とミナミと大きく違う点としましてはグラウンドアンカーを設置している点でございますが、グラウンドアンカーにつきましては誤廃棄の逆T擁壁側でご説明しており、こちらと同じモデル化をしておりますので説明は割愛させていただきます。
0:19:44	439 ページお願いします。
0:19:49	こちらに、3 号機東側耐震評価における結果のうち、プラスケースの選定結果を示しております。
0:19:57	表にお示しているのが基本ケースで育ちを 0.5 を超えるケースを示しております。
0:20:05	これらのうち、曲げ軸力系で最もヒラタ S_s -DMISISと、せん断の S_s -Dプラプラグラウンドアンカーの S_s -Nをバランスケースとして選定しております。
0:20:16	447 ページお願いします。
0:20:22	こちらが 3 号機東側防波扉構成額の耐震評価結果となっております。
0:20:30	最も評価値が厳しくなってるのは、車輪受け桁のせん断応力で、こちらが 0.786 となっております。
0:20:36	459 ページお願いします。
0:20:41	一方こちらが防波扉の基礎スラブにおけるせん断応力の調査結果となっております。
0:20:48	最も厳しかってるのは、 S_s -Dプラプラでございますが、こちらが小 80.836 となっております。
0:20:56	463 ページをお願いします。
0:21:02	3 号機東側の改良地盤の滑り安全率の評価結果を示しております。
0:21:06	こちら S_s -N甘いPRAで、1.65 という滑り安全性が出ておりますが、1.2 以上あることは区に確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:16	475 ページをお願いします。
0:21:23	こちらは標準対策工セイキタイの照査結果をお示しております。
0:21:28	こちらでは、上部支承アンカーコンクリートが最も厳しくしております、4 月応力で 0.841 となっておりますが、許容限界は超えておりません。
0:21:38	次に 3 号東の津波評価をお示します。588 ページをお願いします。
0:21:49	こちらが 3 号機東側の津波評価の時最も評価が厳しくなっている構成主体の結果を示しており、最も照査値が大きくなっているのが衛藤あたりのコンクリートとなっております。
0:22:01	人達はせん断応力度で 0.867 となっておりますが、許容限界は超えておりません。
0:22:08	続きまして参考資料についてご説明します。603 ページをお願いします。
0:22:18	参考資料につきましては、防波扉に拳ミナミの住宅RCC中の波及的影響についてご説明しております。
0:22:26	下の図にお示しておりますが、ミヤジマミナミの方は扉の側に自爆RC 支柱イシイ幅約 3 メートルを設置しております。
0:22:34	この次は久我地震時荷重津波時の荷重に対して、十分な構造強度を有するかを確認しております。615 ページをお願いします。
0:22:46	こちらが調査結果となっております、最も照査値が厳しくなっているのは、地震時における曲げ軸力系の破壊に対する照査となっております。部位がRCC中で、
0:22:56	育ちが 0.905 たっておりますが、教育委員会の中に収まっております。
0:23:02	617 ページお願いします。
0:23:05	続きまして防ハットリヤギ阿部波の杭頭部の耐震評価についてお示しお示しております。
0:23:12	防波扉に上げミナミを支持する効果額につきましては、杭基礎設計ビンダーに基づきまして、耐震評価を行っております。
0:23:20	この調査の結果、どの調査結果、調査項目においても、調査値 0.5 を超えてないことを確認しました。
0:23:28	次の参考資料 4、4 につきましては、コメント回答、回答時にご説明します。631 ページをお願いします。
0:23:38	参考資料 5 では精密試験についてお示しております。
0:23:42	防波扉 4 号につきまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:44	遡上津波荷重における水圧を作用させたときの漏水量が、許容漏水量以下であることを、水密試験により確認するための試験計画についてご説明しております。
0:23:54	637 ページをし、お願いします。
0:24:01	防波扉 1 号機北側 2 号機の北側につきましては、扉本体の元に取り付けているSmithパッキンが、扉本体同額本体の隙間を埋めることで止水する構造となっております。
0:24:12	エミヤギはミナミと 3 号機東側につきましては、下に取り付けたA型ゴムをオガタヨシツグで取水する構造となっております。
0:24:21	640 ページをお願いします。
0:24:25	これらのうち 1 号機北側に沖田側につきましては、扉本体の開閉方向が最後となりますが、防火扉の構造寸法及び遡上津波荷重における水圧が同じであることから、同等の止水機能を有し戻して評価します。
0:24:39	また 1 号機北側の北側につきましては、同一の構造であり、試験サイトウ高さがより高い復水器エリア、水密扉の水密試験結果、こちらについては今後御説明予定であります。
0:24:51	について、において十分な止水機能を有すると評価しております。
0:24:58	641 ページをお願いします。
0:25:03	エミヤギはミナミ 3 号機東側につきましては、止水機構及び遡上津波荷重が同じであります。
0:25:09	底部二相底部に倉庫用レールが設けられており、不陸を有する、また、一方、3 号東側の底面を、平たん部のみであることを踏まえまして、被水条件がより厳しくなる宮城大南を、
0:25:22	模擬したキョウシタイにより水密試験を実施します。
0:25:25	1 の表で押しお示しておりますが、橋梁水量は 0.2 リットルパーメートルパー秒以下としておりましてこれはダム堰施設検査要領に基づいております。
0:25:36	644 ページをお願いします。
0:25:42	3 ポツ 2 ポツ 2 水密試験結果、括弧水道を示しておりますがこちらについては、今後、ご説明させていただきます。
0:25:51	645 ページお願いします。
0:25:55	最後参考資料 6 でございますが、こちらでは、表対策コウノ、評価対象部位に局所的な漂流物衝突荷重 1200kNパーメートルが作用した場合の影響について確認するのでございます。
0:26:08	646 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:12	評価対象部位としましては、直接漂流物が衝突することを想定して、評価を行い、評価を行っていること、及び、モデル化した針が最も短いことを踏まえまして、
0:26:22	局所的な漂流物衝突荷重による影響が大きいと判断した補助縦型を評価対象部位として選定しております。
0:26:29	この調査の結果ホタテデータの所達については、施設全体に作用する表彰、漂流物衝突荷重の調査値を上回りますが、00点。
0:26:41	0.109と大きく、
0:26:43	余裕があることを確認しております。
0:26:46	以上でご説明、説明を終わります続きまして、コメント回答に移らせていただきます。
0:26:53	資料番号3-6ページをお願いします。
0:27:06	コメントNo. 20についてご説明します。
0:27:10	防波壁つ防波扉及び勝利物対策工について、津波発の採火方法を説明することでございます。
0:27:17	こちらにつきましては、防波扉及び及び対策工に作用する津波パーツの差異化方法としまして、
0:27:23	これらの構造物で朝倉式から算定した水圧を同じように考慮すること、及び教育対策コウノ香セイキタイが格子状の構造を有するが、安全側の評価となるよう、更新のスキームを10月目として、
0:27:34	鷲見パーツを考慮することを追記するとともに、津波受、津波時の荷重作用図を追加しました。
0:27:40	こちらについては260ページに、この文章を追記させていただいております。
0:27:46	続きまして、コメントNo. 21番をお願いします。
0:27:52	こちらは棒廃棄通路防波扉の表裏物対策の位置付けについて整理して説明することでございます。
0:27:59	こちらは防ハタヒラノ表裏物対策工は、コメント内容としましては、防波タムラ表物対策工は、津波防護施設の防波扉に漁船等の俵物が直接衝突しないことを、
0:28:10	目的に設置する旨を追記しております。
0:28:13	またA評価、漂流物対策工は防波扉の評価対象部位として、耐震計算書及び強度計算書に取りまとめる旨を明記しております。
0:28:23	最後に、コメントNo. 55をお願いします。9ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:35	コメントNo. 55 としまして、防波壁通路防波扉に設置する漂流物対策工について構造図及び荷重伝達機構を説明することです。ごさいます。
0:28:44	こちらの回答としまして、僕は戸谷に設置する漂流物対策工について、構造図を示した上で、水平方向及び鉛直方向の荷重作用時における荷重の伝達経路伝達経路を目、記載いたしました。
0:28:58	こちらについては参考資料 1 でご説明いたします。600 阿保節の 629 ページお願いします。
0:29:17	こちらは参考資料、参考資料 4 の表裏物対策コウノ。
0:29:22	はい。
0:29:23	あ、失礼しました。
0:29:27	すいません資料番号 6 の、
0:29:29	629 ページをお願いします。
0:29:39	こちらが参考資料 4 の漂流対策コウノ支承部の構造についてにおいて、示している荷重伝達経路になります。
0:29:46	まず 629 ページを示しているのが、水平荷重作用時の図を示しています。上側が海側から陸側にかかった場合、下側が陸側から右側にかかった場合です。
0:29:57	ウエダにつきましては、海側仮から陸側にかかった荷重が、額が重圧した荷重は、主要コウゲだと、橋上げた 4 月版を介してと渡に伝達されます。
0:30:08	衛藤あたりに作用した荷重についてはRCC中に伝達されます。
0:30:12	下側の、陸側から右側につきましては、
0:30:16	額が重圧した荷重が、上下部支承を介して、上下部支承金物に入札されます。
0:30:24	そして上下部市長金森西郷下荷重はRCC中基礎スラブになされます。
0:30:31	630 ページお願いします。
0:30:40	こちらは鉛直下向き鉛直上向き荷重が作用したときの図を示しております。
0:30:46	鉛直下向き荷重がかかった際には、自体が術者は鉛直荷重による回転モーメントは、上株主紹介して、グループとして、上下部支障金物に伝達されます。
0:30:58	また、上市株式償還後に作用した水平方向につきましては、基礎スラブにRCC中と基礎スラブに伝達されます。
0:31:07	鉛直アノ機械につきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:10	額が 10 月した鉛直荷重による改定モーメントは、同じく浄化部署に対して、金物に提出されます。
0:31:20	この金森熱荷重はRCC中期調整になされていきます。
0:31:26	以上ですべての説明を終わります。
0:31:31	はい。規制庁日浦です。ご説明ありがとうございました。それではコメントが三つありましたので、ちょっとコメント三つ、最初に確認した後に、そのあたり、ちょっとこちらです。新規に確認したい点をですね確認していきたいと思います。
0:31:50	資料 3 のコメントを、
0:31:53	資料 3 の 6 ページの 20 ですね。
0:31:58	ごめん。
0:31:59	はい。コメント 20 については結構です。
0:32:02	次はコメントの 21 なんですけど、
0:32:05	これが今ここにですね回答。
0:32:09	はあるんですけど漂流物対策工は防波扉の評価部位ということが書かれているんですけど、それがですねちょっと資料中で、
0:32:19	読めるところっていうのはですね、なかなかこれ、どこがどこでやめるのかなっていう話ですね、⑥のですね 69 ページ。
0:32:31	構造概要のところがあるんですけど、
0:32:35	防波扉はSクラスのオチアイ 5 施設に分類されるんですけど津波、津波防護協力対策工、
0:32:43	についてはですね、特にその位置付けというか、そういうところは書かれていないので、ちょっとこの辺を明確にさせていただきたいと思うんですけどいかがでしょう。
0:32:52	中国電力のセイキです。
0:32:55	承知いたしました。評価上の一部として評価してプラスの評価を一部として評価しておりますので、その旨を記載させていただきます。こちらで回答で書かせていただいたのは、
0:33:05	漂流物対策工アノ、別のたてつけのものとして申請するというものではなくこの計算書の中で評価させていただくことをもって、評価部位の一部ということで、整理させていただいておりましたが、
0:33:18	少し説明が不足していたかと思いますので、記載を追記させていただきます。はい、わかりました。
0:33:27	ちなみにあとですね 79 ページのところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:30	これも表、これは扉と対策コウノ部位の役割っていうのを表分けているんですけど、
0:33:38	これも、
0:33:40	一緒にできた方がいいのかなと思うんですけど。
0:33:43	中国電力のセイキです承知いたしました。
0:33:46	はい、わかりました。そういったことでポイントについては理解しました。
0:33:52	はい。
0:33:54	今の、
0:33:56	ぜひ追記いただいてあとはテンプレとかに展開していただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:34:03	最後のコメントですけど、
0:34:06	55番、はい。これ木崎さん。
0:34:10	規制庁の江寄ですけれども、一応ここに関しては、一旦了といたしますけど、
0:34:16	構造つつたときにね、税を例えば、
0:34:21	すべてのあれなんだけど、図面が足なくて、
0:34:25	構造分かんないんだよね。すごい全体を、図書館と土地と図書の間をつなぐように見ていかないとわからなくて、
0:34:33	例えばね、
0:34:34	例を出せば69ページとか、
0:34:37	70ページ、71ページ見たときに、
0:34:40	じゃあ、
0:34:42	ここ施設を直接に支持してるってヤマシタのものを書いているけど、
0:34:47	それだけじゃないよねって防波壁とかも附属としてくっついてるわけだから、
0:34:54	そっちの方の杭基礎がどうなってんのかとかそういった情報も出てないし、
0:35:00	二つ要は、防波壁の多重交換式と、逆Tと二つあるわけだよね。そこの位置関係はある程度、
0:35:09	すごい見にくいけどキープランには書いてあるけど、70ページ、それとその基礎の形式はどうなのかってのは前提はわからないんですよ。
0:35:19	まず、これ1例1例ですよ。
0:35:22	全体的にわからないんで、基本的に言うとき、参考図書なんか行くと、どこ見てるのか、どの部位を見ているのか、非常にわかりにくい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:31	なのでそれをもう1回見渡して例えばね、604なんて一つ例だけど、これだけ見てわかりますかっていう話があって、
0:35:39	何を示しているのか二重丸のグルグルは何なんだってこれ大丈夫か5しかかもしれないけど、
0:35:44	それと、自主的にエミキドと。
0:35:48	点線でいってるところなんて、この区域外を割るとかぶっちゃって、躯体と何を見てんのかわかんないしどのレベルで見てるのかわからないねこんなね、図面として失格だよねはっきり言うからね。
0:36:01	一応悪いけどさ、この辺もしっかり書いていただかないと、すごく審査が時間かかっちゃう。
0:36:07	これは何をしたいのか。
0:36:09	どういうねどういう構造だから、
0:36:11	どういう計算をしたいのかって言ったときに、どういう構造なのかが頭に入ってこないんだよね。
0:36:17	だから、やたらとこの厚い紙の中で、
0:36:20	この情報を読み取って多分こういうことなんだろうなっていうことを読み解く必要があって、それにすごく時間費やしちゃうんだよね。
0:36:28	だからことで、
0:36:29	審査をしていく。多分これから各社さんが聞いていくと思いますけど、
0:36:34	基本的にこういった図書を出されてしまうとものすごい時間かかってしまう。
0:36:38	だから、できたから早く見てください早くヒアリングしてくださいってのは結構なんですけど、
0:36:43	やはりそ、そのために審査が早く進むためには、効率的効果的、
0:36:47	わかりやすい支所とし、出し方、それと、
0:36:50	通常でいう土木建築の技術者が、各図面として適切なのかよく考えてください。
0:36:57	だから、全部投影していくなら、波線で示すべきだったりするし、
0:37:03	副祖父大体ね、躯体のところの平面図1と、
0:37:07	大木木曾布設と鉄南で普通図面で書くといったら、じゃあこれで書いてこれ見て、じゃあ、施工会社が建設者は、
0:37:17	建設できますから、できないですよ。そういった図面上を極力やめていただきたいし、実質的にね。
0:37:25	計算書で何をしようとしているのかその意図に応じた図面を出してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:30	これ全体にいえることです。だから、
0:37:32	今回はさっきのコメント、コメントに関しては1完了にしますけど、全体それは見直してください。
0:37:40	新たに図面を
0:37:43	作り直すとかまた、いわゆるオートCADとかJHRでも、令和ければ要らないえばんところは見せなくて済むようになるはずなんで、そういったことをちょっと配慮した上で、とりあえずは変えたらいいというもんじゃなくて、
0:37:57	実際その計算するために必要なパーツは何なのかと。
0:38:00	いらぬパーツは外すべきかもしれないし、その辺も含めてですね、もう一度その辺は見直して、品質の観点で見直していただきたいと思います。よろしくをお願いします。
0:38:13	はい。中国電力の岡島です。申し訳ありませんでした。おっしゃられる通り効率的な審査をしていただくという点で、図面の配慮が足りた等々、反省してございます。
0:38:25	今回持ち帰ってですねキープランをつけるとか、先ほどおっしゃられた、必要な情報、いらぬ情報の濃淡をつけ、
0:38:32	分けるとかですね、そういったことで、見ていただいて理解しやすい図にするように、改めて整理いたします。以上です。
0:38:42	はい、規制庁チギラです。
0:38:44	ほんで、それはお願いします。
0:38:47	それでは
0:38:48	ちょっと順番に確認をしていきたいと思います。
0:38:57	規制庁の三浦です。
0:39:00	これ添付資料だから、はい、2番の資料ですか。14番の資料ですか。
0:39:06	もう88ページ。
0:39:12	ここで、
0:39:14	補足でもいいんですけど、ここの添付資料のところに、
0:39:18	構造物のモデル化っていう記載がありますよね。
0:39:24	これ非常に簡単に書いてあるんですけど、
0:39:27	これ実際にどういうふうモデル化してるかっていうのを少し聞いてきます。
0:39:33	これオク行く方向のモデルカードをしてますか。
0:39:41	あ、中国電力の小田です。奥行きにつきましては、宮城はミナミが奥行き4.7メートル、これが鋼管杭の杭ピッチの風景標高。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:51	長さでモデル化しておりまして、3号機東側につきましてはタイメートル、1メートルで奥行きモデル化しております。以上です。はい、木曽梅田です。そうすると、例えばRC支柱って非常に複雑な形てるじゃないですか。
0:40:04	その奥行きのモデル化に対してどういう補正をかけられてるんですか。
0:40:10	4.7メートル単位単位面積っておっしゃいましたよね。形は非常に複雑ですよ。
0:40:16	それはどういうふうなモデル化をされてます。
0:40:18	はい。中国電力のセイキです。
0:40:21	RCC中につきましてはですね、ヒンジがついている。
0:40:27	RCC漂流物対策コウノRCC中ですね。そうですね。コンクリートとしてモデル化されてる。はい。につきましては、ヒンジのついているRCC中の、
0:40:39	方をのみモデル化しておりまして、複雑な形の中で、断面として考慮できる幅のみをモデル化しております。で、
0:40:49	先ほど説明の中でオダの方から説明しました通り、そういったモデル化をしておりますので、全体の14メートル幅がモデル化できているものではございませんで、
0:41:02	強度計算として、漂流物対策工、見えた辺りの長さで与えるときにですね、そのRCC中幅に
0:41:10	関わる漂流物荷重のみしか今入っていないという状況になっていることが、先日、申し訳ありませんわかりましてといいますのは、スイングゲートセイキタイのスイングゲートにあたる、
0:41:23	漂流物対策工が反力として入っていないという状況がわかりましたので、そちらの方はこちら資料反映できておりませんので適切に反映させていただきたいと思っております。
0:41:34	あとちょっと私聞きたかったのは、
0:41:37	単位面積にしてる時っていうのは、
0:41:40	RCCは長さ持ってますよね。
0:41:42	それを、退院、退院目単位長さあたりをですね、置き換えてる。
0:41:47	という理解でいいですか。
0:41:51	はい。単位長さあたりに置き換えているという。はい。それで例えば89ページのこれモデル化でもいいんですけど、
0:41:59	二次元のモデル化されてますよね。
0:42:02	そうすると、RC支柱っていうのは非常に形が複雑で、図新駅が、リーチがずれるんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:09	ここの、
0:42:10	Rシステムの
0:42:12	モデル化されてるポイントってのは通信なんですか。
0:42:18	図、RCCの図示んではございませんで
0:42:22	女性には近いとは考えているんですが少し図面が、
0:42:45	はい。⑥の補足説明資料の 77 ページをご覧ください。
0:42:53	はい。
0:42:56	はい。
0:43:01	こちらの 77 ページの方のですね、上の図の右側、こちらの方にヒンジで、水ゲートが取りついております。
0:43:11	で、モデル化してる範囲としましてはこちらの
0:43:16	横尾の長さで 3.25 メーター、縦の長さで 3.40 メーターというこちらの
0:43:24	範囲をモデル化しているというところです。
0:43:29	あそうなんですか。これ下の方は何でモデル化されなかったんですか。こちらの方は補足。保守的にモデル化していないというアノ断面事業は、
0:43:39	期待できるものではあるんですが、だから、今この四角の断面で、
0:43:45	地震ほど解析もやり、断面限定者資格の画面でやってるってことなんですか。笹井でございます。その辺ちゃんと書いていただかないと全くわからなかったんですよこれ。どちらの断面を得るかというのを、はい。
0:43:57	それと、あとは、
0:43:59	不付加重量を基礎に落としてんでしたっけこれ対策工とか、包丁アノ。
0:44:05	扉の違いましたっけ。扉の構成のものについては、既存の方に付加重量として考慮しております。
0:44:15	これ基礎にならして入れてるんですか、どういうふうにして入れてるんですか。
0:44:22	土岐
0:44:23	直下の部分に、そのポイントに洗剤が乗っかってる点に、わかりました。わかりました。
0:44:31	今ちょっといろいろ聞いたんですが、
0:44:34	その辺のところちょっと詳細に説明していただけますか。
0:44:37	ちょっとこれ見てて。
0:44:40	モデル化の内容が全然わからなかったもので、出てきてる応答結果がこれでもいいのかどうかもちょっと判断つかなかったもので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:47	今、私ちょっと質問しましたけど、モデル化どういうふうにしてるか、必ず詳しく入れてください。
0:44:56	あとす。同じようにこれ、添付資料の 89 ページなんですけど、ここに、
0:45:02	洗剤のバー要素が立っていてこれ漂流物対策工って書かれてるけど、実際にはこれ、
0:45:10	漂流物対策コウノと辺りでRC支柱ですよ。
0:45:14	ちょっとその辺のところも他のちょっと。
0:45:17	何だ、モデル化東側もそうだし、VAIOそうは言ってるところこれみんな漂流物対策法とか防波扉になっちゃってるんだけど、ちゃんとRC支柱であること、要するに、
0:45:29	こちらの左側の説明とリンクするような絵に、
0:45:33	なるようにしておいてください。いいですか。中国電力のセイキです。記載が足りておらず申し訳ございません承知いたしました。
0:45:41	はいすいませんお願いします。
0:45:45	あとちょっと、これは、これもちょっと添付資料補足にもご説明されてるんだけど、
0:45:55	151 ページ、添付資料だから資料まで 4 の 151 ページですか。
0:46:05	漂流物対策コウノと辺りのRC中の断面検定結果があるんですが、
0:46:11	これちょっと先ほどちょっと言われたこと絡むかもしれないんだけど、
0:46:15	これに対して、その例えば漂流物対策法の慣性力って、どういうふうに見てるんですか。
0:46:24	これ慣性力評価軸での断面力図を示しますって書いてありますよね。
0:46:31	もう、地震応答解析上は、
0:46:34	漂流物対策工そのものは基礎二次重量として付加重量と落としてんじゃないですか。
0:46:41	そうするとこの中には、慣性力として漂流物対策工の慣性力が入ってこなくなっちゃいますよね。
0:46:48	そごどういうふうを考えられてますか。
0:46:56	中国電力のセイキです。
0:46:59	先ほどの基礎に付加重量を落としているっていう点、構成の扉の方は基礎に落としていることは間違いないんですが、こちらの
0:47:09	漂流物対策工ヒンジでくっついてるものにつきましては、もう一度、どちらに与えているものか確認させてください。ヒンジ位置に落としていたのか、木曾に落としていたのかというのを、申し訳ございません、確認させてください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:24	おそらく基礎に落としてる表キーから見ると、木曾ゴトウしたような気がするんですけど。
0:47:29	これ落としちゃうと本当にそうですよここに働いてくる扉の慣性力がこれを暴力で評価できないことになってしまうので、
0:47:39	そういう本当にこの決算大丈夫ですかっていう。
0:47:42	ことになってしまうんだけど、おまけに、そこが入ってないと今度基礎スラブもおかしくなっちゃうので、
0:47:48	それはちょっと計算結果が、どうなのかっていうことが明確になるようにちょっと調べて、
0:47:54	詳細を教えてください。
0:47:56	中国電力のセイキです。承知いたしました。
0:48:00	はい。なるほど。
0:48:02	基礎に落としてるっていうことが、
0:48:06	5 たなんで、そこから上の加速度ってのは一律だよっていう考え方なのかな。
0:48:13	ということの理解ですか。
0:48:16	こういう周期が 20Hzを超えているからっていう、そういう理解ですか。はい。中国電力です固有値解析は、としておりました、それで 20Hz超えるので、後の構造であるということで、
0:48:27	基礎スラブの震度を用いて設計しております。はいわかりました。例えばねそうすると、
0:48:34	やっぱり資料 2 の 101。
0:48:39	同じようにこれ補足のほうも全部、
0:48:41	同じことを書いてあるんで、確認していきたいんですけど。
0:48:45	ここ
0:48:46	主げた。
0:48:49	田井迫の繁田ですよね。手芸他の。
0:48:53	地震時。
0:48:55	地震時時って中に重なってますんで下の図、4-17。
0:49:01	17 の左側地震時、時が下がってるから待ってください。この慣性力ってどういうふうに求めてるんですか。
0:49:19	中国電力のセイキです。今、見ていただいて、図の 4-17 ですねこちらの防波扉の
0:49:28	方、対策工ではなく、水を止める防火扉の方ですね。そうですね防ハットリウダのやつですねどうは扉の慣性力はどういうふうに求められてる

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	んですかという質問で、こちらの慣性力につきましては防火扉の重量に、
0:49:40	保守的に設定した設計用振動を与えて、水平方向の慣性力として採用させております。
0:49:49	設計用震度っていうのはその基礎弁、基礎面での加速度から持ってきているし、振動ですか。はい。中国電力のセイキです。そのような設定となっておりますそれは、
0:50:01	剛なものであるということを確認した上で、底面からの振動を持ってきているという、先ほど言ったあれですよね付加重量のポイントから落とすところの接点での、
0:50:12	家族とか何かのを深度に置き換えて、これに、
0:50:16	与えてる通知率を与えてるってことですね。はい。
0:50:20	中国電力の清家そのような理解で。
0:50:23	というようなこともですね、説明をしておかないとこの辺のところを理解するのは結構、
0:50:29	どういうふうにやったんだろうなっていうのを見るのは結構大変でした。
0:50:34	あと、ちょっと細かいことで、
0:50:38	申し訳ないんですが、
0:50:40	補足説明資料中 6 番なのかな。
0:50:45	の 380 ページっていいですか。
0:50:52	ここで、この図は何を示してるのかっていうのがまず他にもちょっと出てくるんですけど。
0:50:59	よくわからないんですが、
0:51:01	これ 51 設定の概念図。
0:51:04	詳細値はわかるんだけど、
0:51:08	5 として扱ってるってことですか、何か。
0:51:11	質問わざわざ 379 ページに郷行きの判定基準ってのは入れてるんですが、これを見ると、基礎分は全部 5 としてやって、それから 0.5 メートルかな、0.
0:51:24	0.5 メートルが入ったところの詳細値にしてるってことなんですか。ちょっと何かこの図の意味を教えてください。はい。中国電力のセイキです。皆さんおっしゃっていただいた通り、5 として行っているということを示したものでございまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:37	そのときの参考としまして、仮にこれが合意きとして設定するときの考え方も書き、保守的に5として設定しているということを説明させていただいて、わかりました。
0:51:48	だからなんだ、379ページに従ったらかうだけど、実際には全面を5として扱ってるっていう図なんですか。
0:51:58	中国電力のセイキでその通りでございます。
0:52:02	わかりました。これ詳細値を言ってるわけじゃないんですか。
0:52:08	中国電力の清家アノ5として扱っているところの、端が縦壁の端が詳細値ということですのでご負担で調査をしてるってということですか。わかりました。
0:52:19	はい。ちょっと私からはとりあえず、嘘。
0:52:26	規制庁の江寄ですが、私の方からちょっと解析モデルの話で、
0:52:31	あって、今の補足説明資料6番でしたっけ。
0:52:36	そこで言うところの98ページ。
0:52:38	で、
0:52:41	いわゆるね、断面の切り方解析モデルと直結するんですけど、
0:52:47	なぜ、
0:52:48	次の99ページ、いわゆるこういうような法令線で表記しているのかといったときに、
0:52:55	これが、
0:52:56	解析戻して妥当だっていうのが、我々としては判断つけられない。
0:53:01	それなぜかっていうと、
0:53:03	一つからするとそのまっすぐ費それぞれ引いた場合はどうなのかっていうような、
0:53:10	地層構成がわかんないんだよね。
0:53:13	だから局あたりとその構造物が事故に当たるかどうかだけではなくて、
0:53:18	いわゆる安定性、
0:53:22	とかSOA安定性と言うとMMRだったり、改良地盤なんだけどそこも一応、
0:53:28	取水性能も関係してくるんだけど、そこに対する液状化、
0:53:33	対象層がどのように影響を及ぼすのかって考えたときに、
0:53:38	どういような地形形状になっているのか、例えば直交する方向とかわからないですよこれね。
0:53:46	基本的にはこの辺の情報って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:48	そう、それぞれの多重交換式だとか、逆Tの方でこの橋野まで全部駄目ってわかるわけじゃなくて、
0:53:55	それから考えるとなぜ、この
0:54:00	駄目を選んだんですか。
0:54:02	そう。それはそれでなぜそれが妥当なのかって今説明できますか。
0:54:08	中国電力のセイキです。断面を、こういった折り曲げた理由の方を少しご説明させていただきます。
0:54:25	はい。
0:54:30	はい。
0:54:32	現在、現状の考え方としましてはですね、防波扉が、止水を行う種の構造物としまして、防波扉に直交するような方向で断面を切っております。
0:54:44	それがこちら平面図で言う斜めの線になっております。そちらの方を北側の方に延長していった場合、逆T擁壁の防火扉の方に当たりますので、その下は基礎を含めて、剛なものが、
0:54:57	出てくるということで、防波堤扉にかからないような重要な方向に折り曲げて評価を行っているということが保守的であると考えてそのような評価としております。
0:55:07	さっき言った私が言ったその基礎地盤ん願いと基礎地盤じゃないんだよね。
0:55:12	施設なんだけど、その地盤改良とかMMR、今回その止水性のあるんだけどそういったものに対して、
0:55:18	じゃあ必ずしも安全側になってるのかって、木曾全体としてのその安定性、
0:55:25	ていうのはどう評価すべきなのかっていうのは答えになってないよね。
0:55:29	まずね。
0:55:31	多分それって、まずは、
0:55:33	どういう段、まず持ち帰ってもらって、各方向のと、
0:55:38	地質状況を知らしめるための断面図、すぐを起こした場合、それと基本的にその直交する制度。
0:55:47	から見て、逆に言うと、
0:55:49	山から山側から海側に行って海側に近い。
0:55:53	状況とかいろいろ考えたときに、特に今までのやつって、液状化の影響って結構大きいじゃないですか。逆Tを駅にしても、そうした時に、そうした地質構造として、
0:56:05	これ、今選んでるものが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:07	安全側と言い切れる。
0:56:10	まず、図面がちゃんと、ちゃんと確認してるかってのが大事だと思うんだよね。
0:56:16	基本的には全部をされてしまっって変形してしまう子、この後ずっとそう見えるけど、
0:56:22	変形問題も出てきて、こういったイシイcause異種の、
0:56:27	なんか構造形式分構造、いわゆる1支持地盤とか、支持物が、基本的には、
0:56:36	二つ三つに跨っちゃってるよね。だからそうした場合には、ある程度、その基礎地盤、
0:56:43	基礎地盤改良地盤の変形とか、
0:56:47	基礎部、基礎部の変形、地震が上に及ぼす影響って考えなきゃいけないくて、
0:56:52	隙間ができるとかできないとか、そのゴムが、今、シバタとハタにあたってを押すタイプでね多分こうこれって、高浜と同じで、
0:57:03	定時に来たら、ある程度、圧着するような、機械的になるやつだというふうには理解しているんだけど、だからといって基本的に例が上がっちゃったりなんかしちゃうたら、
0:57:14	その機能も使えないわけで、
0:57:17	そうしたときに、
0:57:18	この断面だけで説明できるという、
0:57:22	ところをまずは説明しないといけないんですが、いきなりこの断面でいいですよって話じゃなくて、
0:57:28	いろいろ見た上で、
0:57:30	網羅的に見た上で、
0:57:32	これでいいんですっていう説明がなされてないんだよね。
0:57:36	だから我々としてはこの断面でいいのかっていう説明は判断できない。
0:57:41	簡単に言うと、今言った問題が
0:57:44	我々としては、
0:57:46	データとして紙データっての図面でしょうけどね、が示されていない限り我々は、
0:57:51	行政の判断できない。
0:57:54	ただ、一番大事なのは、
0:57:55	解析モデルのところから話が崩れちゃうと、全部これ話はね、込む。
0:58:02	変わってっちゃうんで、ここはちゃんと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:05	説明できるだけすべきだし、仮にその図面で説明できないんだから、計算したとしても、今の部分の荷重で十分なんですよってという話はしないといけない。
0:58:16	それは、上部構造だけの話じゃなくて、当然基礎の話もあつたりするわけだし、それとあと、基礎が変形すれば、今までかなり傾斜。
0:58:26	厳しいという状況で話をしていたのもかかわらず、その部分がこっから抜けてると思うんだよね。
0:58:33	ていうのは、
0:58:34	ここの部分って特に、
0:58:38	二つの三つの構造にまた跨ってるじゃないですか。
0:58:43	何ページだったかな。
0:58:48	例えば、見やすいのは、立体図でさ、69 ページですね補足説明資料。
0:58:54	これって、
0:58:55	貿易がいわゆる逆転溶液。
0:58:59	要は僕は防波扉の方はね、
0:59:03	基本的には直接関与しないが、離隔がね、プラス儲けてるかもしれないけど、
0:59:10	途中交換式と、
0:59:13	逆転溶液、それと、
0:59:16	実際にはこの
0:59:19	防波壁の 1 の本体、その基礎本体ではね、その三つのものの構造に挟まれて、
0:59:26	関連性が出ちゃってるわけなんだよね。
0:59:28	そういった話から考えたときに、
0:59:32	変形がそれぞれ違うと。
0:59:35	いわゆるこの、
0:59:37	地震が起きたときにね、その相対閉鎖がそれぞれ、
0:59:41	多重交換式とか、この
0:59:45	逆転擁壁、それとそれ、この防波壁の基礎、
0:59:50	ここに変位、相対変位が生まれたときに、
0:59:53	どういう影響をおよぼしますか。
0:59:55	て言ったときに答えありますか。
1:00:04	中国電力の関です。まずこちら 69 ページで言いますと、
1:00:10	防波扉につきましては多重鋼管杭の間にあるものです。で、さっきおっしゃる通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:17	漂流物対策工につきましてはその横に逆T擁壁がすぐ隣接しているというところで、離隔距離としまして、
1:00:26	10センチ程度の離隔距離をとることで多重交換、逆T擁壁の相対変位を確認したところ、しまして、
1:00:36	当たらないということをご説明していきたいと思います。
1:00:41	はい、わかりました。ただね、この、
1:00:46	逆T擁壁だけが、
1:00:48	RIS構造なってるんだよね。
1:00:50	その時に、
1:00:53	逆転要否そのものは、期、
1:00:57	面内方向の変形なんで、変形しないですよねほとんどね。てか変形ないに等しいですよね。ただ、
1:01:05	問題は、いつも木曾のところ、
1:01:08	なんで今杭はついてる時は期待しないって形になってあれはしてるんだけど、実質的にこういった状況のところで、今の離隔離隔挙げてますよね。
1:01:19	今10センチって言いましたっけその離隔の中に吸収できるのかどうか。
1:01:23	それを何らしか説明したいと思います。
1:01:25	あえてそれをモデル化して計算するのか、今まで、
1:01:29	逆転溶液。
1:01:31	に関してはいろいろ、様々な変形。
1:01:33	要は、汀線直交方向、
1:01:36	と汀線平行方向いろいろやってると思うんですが、ここで今、該当しないものあるのであれば、どれかその中で一番安全側のものを変位見たとしても、離隔後通ってるっていう話であれば、
1:01:49	計算するまでもないと思うんですけど、
1:01:51	それ以外であれば、何らかどうすればいいのか、それはちょっと検討していただきたいと思いますがいかがですか。はい。はい。中国電力の鹿島です。ご指摘ありがとうございます。先ほどセイキの方からも申しあげましたように私どもも、
1:02:04	上部工の方にですね着目した断面線の切り方ということでこういった9件折れ曲がった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:11	断面で検討しておりましたが、基礎地盤で考えますとどうか、あと変形という観点でどうかということはこれが、この結果で妥当な評価できるのかというご指摘だと思います。で、
1:02:22	この辺りですね、速度構造が10度程度で非常に緩やかであり、その影響は軽微だと判断のもとでやっておりましたが、そういったデータもお示しさしていただいた上ですね、
1:02:34	例えば基礎地盤の滑りであれば、再掲勾配になってないところは例えば割り増しをかけることで見ても十分な余裕がありますとか、変形の方でもですねさっきおっしゃられたようにおそらく、
1:02:46	逆転のところの改良地盤が一番基礎としては剛性が小さいので、一番大きな変位が出ているところですので、暇ですねその辺を倍程度にしても、クリアランスがあるだろうというのが、確認はしておりますが、
1:02:59	そういったところは一切資料にもちょっと今回付けてございませんので、
1:03:03	そういうそ、両者の構造物間の干渉でありますとか、基礎地盤の滑りといった観点ですね、さらに保守的な断面があればですね、そちらの方向については、
1:03:14	このような考え方で妥当だと考えるというようなところで結論をですね、資料の中で盛り込ませさせていただきたいと思います。以上です。はい、わかりました。あと、さっき布施口頭で説明があった。
1:03:26	いわゆる多重交換式と、
1:03:29	防波壁扉の基礎は一体化してる。
1:03:33	て言っていましたけど、そそれはもうわかる多分図面って今あるんですけど、この中で、
1:03:40	多分平面図的には多分、
1:03:43	ちょっとパーツパーツになっててそれもわからないなと思いますし、
1:03:49	キープランでは書いてあるんですが全体平面図として、どういうふうな形になってるかってのは、もう少しこれを、
1:03:56	キープランのキープランでいいんですがこれを、ここのところでは、確かもっと大きい拡大図になってると思うんで、それぞれの
1:04:04	構造、上部工の構造がこういう位置付けを市にあって、それに対して布施講師、
1:04:10	クリブ説みたいなのがあって、
1:04:12	実際にどこに移動ような指示になっているか、要は地下部の情報を平面図として起こしても、もらえれば、全体がどのような状況で接続してるかってわかってくると思うんですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:25	その辺がやっぱり、
1:04:28	構造物だけは、
1:04:30	いくつかのパーツに分かれて、
1:04:34	いるので、そこはちょっとはわかりやすい。
1:04:37	図面をつけていただく必要があると思います。
1:04:41	中国電力のセイキです。承知いたしました。こちらの方が扉、多重交換のどのようなところに設置されているのか既存の状況を含めて
1:04:51	わかりやすい図面をつけるようにいたします。
1:04:55	多分これ宮里、東井加来とかぶっちゃうんですが、この6、補足説明資料の118ページのこのモデル図の中で、やはり中根最初見たときに違和感があったのは、
1:05:08	藤。
1:05:11	漂流物対策工等、
1:05:14	この棒が扉のモデル化の考え方がよくわかんないなど。
1:05:18	何か防波扉は何かサブストラクチャーのように何か法のように高モード構造体をモデル化されていなくて一方で、
1:05:25	費用分対策は、上部工もモデル化されてるっていう考え方があってさっき言った、
1:05:32	一応、
1:05:34	防火扉に関してはほぼ上部のところは5、20Hz以上超えて5タイなんで、基本的にはそ、そこは個別設計できるという判断で、
1:05:44	基礎にもたらず影響も特段、
1:05:47	重量だけを入れとけば問題ないということで、
1:05:50	考えてるって話ですよ。
1:05:52	さっき答えて答えてはいるので、そういったことはしっかり書いてくれないと分かんないってということで、三浦も言っていましたけど、ここは私もちょっとね、
1:06:00	何でだろうっておかしくはないような気もするけど、
1:06:04	何だろうねっていうのはちょっと思いましたんでこの辺もしっかりとですね。
1:06:09	自分たちがやろうとしていること、またその主張すべきことはできるだけ書いていただきたいんですよって説明をする上で、どうしても図面が必要であれば、
1:06:19	使いついていうかね。
1:06:22	文中で説明するとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:24	ということでできるだけ文章書かずに省略しても構いませんけど、
1:06:28	できるだけわかりやすい説明等必要なものをちゃんと説明を加えていただきたいと思います。私からは以上です。
1:06:37	中国電力のセイキで承知いたしました。
1:06:41	はい。規制庁の千明です。
1:06:43	まだ確認はあるんですが、ちょっと2時間に近くなりましたのでここで一旦休憩を入れたいと思います。
1:06:57	はい。規制庁の千明です。それではヒアリングの方を再開いたします。
1:07:02	では、確認を進めていきたいと思いますが、
1:07:06	ちょっと私の方からですね、すみません3点ばかりちょっと確認させてください。
1:07:14	後が、⑥の資料の、
1:07:19	参考。
1:07:21	なので
1:07:22	645 ページ、参考 6 ですね、参考資料 6。
1:07:31	方の説明なんですけどその参考資料 6 っていうのは、
1:07:38	これは、
1:07:39	まず防波扉と、防波壁。
1:07:44	で、漂流物対策工ってあるんですけど、これは、
1:07:49	何か扉の場合と、防波壁の場合とで、
1:07:54	考え方ってか、変えるんですかね。
1:07:59	はい。中国電力のセイキです。防波扉の方は今後説明させていただくということで、
1:08:09	防波壁の方ですね、ごめんなさい廃棄の方は明日にご説明させていただくという予定になってるかと思います。扉の方の考え方、大きく変わるものではないと考えておりまして施設全体に関わるものと、
1:08:22	局所的なものを両方の荷重を確認するというので、認識しております。局所的なものにつきましては、スパンの短い部材等に効いてくるということで今回扉の方では、
1:08:35	仕立てげたということで全停止誘導の方確認させていただいているというものです。以上です。
1:08:45	はい、中国電力ヨシツグでございます。
1:08:48	安保ITにつきましては、
1:08:52	また、明日、
1:08:54	漂流物対策工の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:57	考え方、設計の考え方等をあわせてご説明の方させていただきますけれども、基本的な考え方同じ考え方で、どういった荷重の与え方をするのかというのを整理しております。以上でございます。
1:09:09	はい。規制庁チギラです。それで、この参考資料 6 っていうのか、今年の 9 月 1 日に審査会合で、
1:09:19	審議した内容をカバーしてるのかなっていうところの確認なんですけど。
1:09:25	9 月 1 日の審査会合のところではですね
1:09:29	漂流物衝突荷重の算定っていう、7 ポツの項というのがあって、そこでですね、その局所的な荷重についてはですね、衝突解析において、
1:09:42	平均衝突荷重を上回る局所的な荷重が生じていることから、
1:09:48	施設の局所的な損傷を評価する観点から、施設の延長にかかわらず、局長的な衝突荷重を考慮すると。
1:09:57	ということが言われています。
1:10:00	で、江藤層、
1:10:02	その内容とですね、今回この参考 66 でですね示されている資料あと、また明日ですねちょっと説明があると言われている。
1:10:14	資料の内容について、ちょっと 9 月 1 日の会合で説明した内容をしっかりカバーできてるのかなと。
1:10:25	もしその会合の説明した内容を打ち消すのであれば、それはそれなりの対応が必要になるかなあと思うんですけどその他について、
1:10:37	お聞きしたいんですけどいかがですか。
1:10:44	はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:10:47	詳細はまた明日資料を
1:10:51	ご確認いただきながらご説明の方はさしていただきたいと思っております。
1:10:55	で、
1:10:57	局所的な漂流物衝突荷重そのものは、
1:11:02	良い、良い 1 メーターの
1:11:05	範囲内にかかってくる局所的な荷重というものでそれを見ております。で、
1:11:10	そうしたときに、全体的な施設全体として厳しいものと比較いたしまして、厳しいものの方があればそれをやると。で、
1:11:21	直接、
1:11:22	漂流物を受ける部位。もしくは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:25	施設全体では1メートル以上の数字を記載しておりますので11メートル未満の部位のようなものがあるところにはそういった局所的な荷重がかかるだろうと。
1:11:36	そういった考え方で、整理を今しております。で、
1:11:41	少し、
1:11:43	ここでは、施設、
1:11:46	全体的な荷重というのもの、
1:11:50	扉から失礼いたしました。対策工、
1:11:55	のスライドゲート、RCC中にかかる全体的なもの、
1:12:00	工場げたのような、
1:12:02	1メートル未満のような部位については局所的な荷重を与えると、そういったところでこの評価の方をさせていただいております。以上でございます。はい。規制庁の千明です。その局所的な。
1:12:16	衝突荷重っていうところって、この1メートル。
1:12:20	なのか1メートル未満なのかっていう話なんですけど、これ
1:12:25	先述衝突をしたときに、1001は6メートルですということで、その壁をモデル化する時にモデル化上、短冊で1メートルにモデル化しましたと。
1:12:37	いうところがあってそれで梶尾さんして、していった時に局所的に
1:12:45	おっきなものが生じるということで、
1:12:50	ことがあったので、
1:12:52	何か
1:12:53	局所的な話っていうのと1メートルを超えとか超えないとかっていうのは、何か別の話になるような気もするんですけど。
1:13:01	そういう局所的な荷重がかかるっていうのと、あと全体その横からかかってくる時に
1:13:10	延長上ナガエ比おっきな荷重がかかるというその二つをあわせ持って衝突荷重を設定するっていうことで、
1:13:21	説明を受けたかなと思ってはいるんですけど、そこがですねちょっと今のこの
1:13:27	なんで、1メートル未満のところの部材だけ見るのかなっていうのがですねちょっとその説明がよくわからないんですけど。
1:13:37	ちょっと補足していただけますか。はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:13:42	645 ページの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:45	このキーと図の 2-1 の黄色のところは今言った 1 メーターのところでございます。で、
1:13:53	これについては、床井、1 メーター。
1:13:58	この範囲ということでそういった評価をしております。で、このピンク色を含めた荷重っていうのが今言われたものだと思うんですけども、それについては施設全体の荷重ということで、
1:14:09	1 メーターから衛藤、
1:14:11	五、六メートルまでは先週の荷重の方が、
1:14:14	普通大きいのでそちらの方を選んで、五、六メートル以上のものは、
1:14:19	横方向からの荷重ということで、この絵のピンクルー丸めアノピンク色の、
1:14:25	荷重と黄色を合わせた平均的な荷重というものが施設全体の荷重ということで、
1:14:30	衛藤。
1:14:31	城構造物の分の失礼いたしました構造物の大きさによってこのピンク色と黄色の
1:14:37	院長に応じた荷重を、
1:14:41	評価するものと、
1:14:43	黄色で突出しているところの局所的なところというのは、その荷重を見るという、整理を今しておりますけれども、
1:14:53	認識がちょっと違ってますでしょうか。
1:14:57	規制庁チギラです。そうですねちょっとその、
1:15:00	介護、9 月 1 日の会合のところ施設の延長にかかわらず局所的な衝突荷重を考慮するっていう話が、説明を受けたっていうのが、ちょっと今回、
1:15:13	違うのかなっていうのが一つと、あともう一つ
1:15:18	施設全体に作用する衝突荷重と局所的な衝突荷重。
1:15:23	両方を設計に考慮するという説明だったと思うんですけど、この資料 6、参考資料 6 っていうのか、これは影響検討をしていて、
1:15:33	その影響検討をもって設計に考慮しているのか。
1:15:37	ていうところなんですね。
1:15:39	この二つがちょっと気になっていて、それが本当に審査会合で説明したことをカバーできてるのかどうかっていうところなんですけど。
1:15:50	その辺りについていかがでしょう。
1:15:55	中国電力のセイキです。局所的な荷重が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:59	施設全体に、の総延長にかかわらずというところで、
1:16:06	真子今回このような仕様となっているところとの間、イメージの差異があるということ認識しましたので、今回このような資料をつけさせていただいたのはですね、施設の延長例えばスパンの長い針の
1:16:17	中央に局所的にかかった場合は、スパン全体に当分荷重をかけた方が厳しくなると考えておりますが、スパンの短いような部材今回取り上げましたような、
1:16:29	75センチの橋立げたとかは、その局所的なものが非常に厳しくなるんじゃないかということでその一番厳しくなる部材、影響の大きいだろう部材を、
1:16:39	一つ影響検討という形で取り上げて参考資料入れさせていただいたというところでした
1:16:45	ほぼ
1:16:48	参考資料ではなく、格上げしてというところを理解いたしましたしその他の影響ということも承知いたしました。
1:17:04	規制庁だけですから、これって、
1:17:07	千田が言った考え方が、我々として受けとめた考え方で、
1:17:13	一応OK出したつもりでいるんですよね。
1:17:15	そこから、
1:17:17	解釈がお互いに違うっていうことであれば、今一度、
1:17:21	もう一度会合で示した方がよくて、
1:17:24	特に、
1:17:25	そう。
1:17:27	実際の設計した上で、
1:17:29	何が合理的かということで、回答してもそれは、
1:17:32	科学的合理性があるならそれは構わないんですけど、変えたことが書いたことでまた説明しないといけないと思うんですよね。解釈が違うとしても、一緒だと思うんです。
1:17:42	それで多分、
1:17:43	施設によって使い分けがあるように感じ取ってます。であればまず、
1:17:49	どう、そう。
1:17:52	体系が体系っていうかどういような施設に対しては、どういような荷重を与えて、
1:17:57	ということがですね、実際に具体的に、例えば、例えば多重交換式、防波壁

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:05	とかアノ逆転溶液とか、
1:18:08	そういう一般的、一般部に対してはこう考える。
1:18:12	ていう考え方もあるでしょうし、実際に一部特殊な構造に関してはこう考えるってあるんだと思います。それを使い分けとか、
1:18:22	いったことはちょっともう少し明確化してもらった方が、全体の整理がつくと思いますし、それが実際の設計的に今、
1:18:31	全体のこのLS-DYNAの結果も含めた上で、それが安全側として、
1:18:37	考えられるのか、いわゆる適合性の判断としてね、安全側であれば適合性があるということになりますか安全性複安全機能の維持という観点でね。
1:18:48	その辺をもう少しですね、お互いの
1:18:52	毛布
1:18:53	考えをするようせないと解決ついてないように思うので、これはちょっと会合で、防波壁を今後説明、安保は漂流物、
1:19:04	防止工でしたっけ衝突防止工雑紙だっけ、それを説明する。
1:19:11	時期があると思いますんで会合ですねそれ多分そちらも予定してと思うので、その段階でその前段として、
1:19:18	これの説明が必要かなと思うんですがいかがでしょうか。
1:19:23	あ、中国電力清水です先ほど江崎参与おっしゃられたようにですねさ、実は昨日の資料提出の際にその部位、各構造物ごとのその使い分けをですね、
1:19:37	細かくにですね基本的には局所的な荷重が全体に包絡されるというものについてはもう省略しますと、ただ、極的な局所的な荷重の方が上で今回の資料に影響があるというところについてはそういう評価もしますっていう辺りをですね、
1:19:53	構造物ごとに整理したものを昨日の資料におつけしておりますので、ちょっとさっき施設の延長にかかわらずというところがですねちょっとそこは確かに、
1:20:03	そう、どこまでそこに対して対応できてるかというところがございましてまず数ですね資料の中でご説明さしていただいてですね、先ほど江崎さんおっしゃられたようにですね我々の考え方をですね介護の場ですね、改めてご説明さしていただければと思っております以上です。
1:20:24	はい、ではよろしくお願ひします
1:20:30	規制庁の宮です。これ多分、ちょっとどう結果が唐突なんだろうと思うんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:37	これお聞きしておきたいのは、例えばこの漂流物対策法 2、これ前た形として局じゃなくて全体として、全体系として与える費用分、漂流物衝突荷重って何ですか。
1:20:54	全体として与えております漂流物、
1:20:57	荷重としましては先ほどの漂流物をさ、スイングゲートを支える支柱とスイングゲート、また支柱というところの前、長さといいますか。
1:21:08	そちらで、に作用する、これまでご説明してきた漂流物、
1:21:14	A-Aスパンあたりの増分荷重というもの、対応する増分荷重というものを与えているというところがございます。そうすると、頭分布荷重を与えたときに、重田とか、
1:21:26	全体の長さを持つるものに関しては、
1:21:29	全体系の方が局部のローカルな荷重よりも厳しい、来て、全体系の方が厳しい。
1:21:37	だから、
1:21:38	今非常にローカルな本当焦げたっていうんですか補助げたっていうんですか。
1:21:44	そこだけを見たってことですか。
1:21:47	その辺の流れをやっぱりきちっと整理をしておかないと。
1:21:51	すごく唐突感がやっぱりありますよね。
1:21:59	中国電力伏見です。大変申し訳ございません先ほどおっしゃられた 259 ページのところですね、
1:22:12	これ前回の会合でお示した表を説明しておりますんでここに赤枠で 14 メートルのところですね、施設全体に関わる時にはこの荷重でやりますという話をしまして、
1:22:24	そうは言いながらの局所的なところを補足の添付 6 というところでご説明しております。この前の前回の逆転のときもご説明させていただいたんですけど、ちょっとこの辺の順番が逆になってましてですね。
1:22:35	本当は明日説明する漂流物荷重の設定の考え方はこの辺り整理しておりますのでそれを説明した後に、こういったことをしないといけないというところは、申し訳ございませんでちょっと今回の資料もそこは書きたい。
1:22:48	出てないと思いますので、この資料の中でもですね各構造物の資料の中でもその辺をですね、ちゃんとわかるようにしないといけないのかなと今改めて思ってるところでございます。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:01	すいませんちょっと私これも読んでちょっとよくなって先ほど言った 14 メーターっていうのは、
1:23:07	まだRCCっちゅうのも全部含めた長さですか。
1:23:14	中国電力のセイキです。
1:23:17	236 ページをお願いします。
1:23:30	236 ページの下の、上から見た平面図で見えていただきますと、支柱幅が 13.9 メーターということで先ほど 14 メーターと
1:23:41	いったものでございまして、2 本の支柱とその間のスイングゲート構成の額の幅を合わせたものでございます。
1:23:48	これが今、重田菅野距離 7.1 メーターですよ。
1:23:54	そうする等、これ衝突荷重ってシバタ部分には、例えば、259 で言っている 7 メーターの 450。
1:24:04	キロニュートンパーメーター。
1:24:06	これを入れた方が厳しいんじゃないんですか。
1:24:10	中国電力のセイキです。
1:24:13	そうですねどの幅で船を受け持つていくかというところで我々としては、御説明としては、一体となって受けとめるということで説明させていただいておりますが、ページの 258 ページを見ていただきまして、
1:24:30	こちらの方、衝突荷重の値を実際に塗布モデルの方に入れております値のほうを記載しております、240 を上回る 204、80、
1:24:41	3 を、強度の方に入れておりますということを記載させていただいております、どの幅でというところ少し説明が足りないところあるかと思ますので、また、
1:24:53	この値 483 の根拠もよくわかんなかったんですよ。
1:24:57	4000 なんて、なんで 420 と言っておいて 483 にしてんのかなっていうところ。はい。こちらの実際の数値自体には
1:25:08	意味を意味といいますか保守的にというところの意味以外にはないんですが
1:26:12	はあ。
1:26:13	なあ。何となくわかりましたよだからあれなんで重田もだからもうちょっとスパンが広くやってるんですよ、きつとね。支店間距離とってるのかな。ちょっと。
1:26:24	その辺のところもうちょっと何かこう、きちっと説明をしていただいた方がいいような気がしますね。はい。
1:26:30	すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:40	はい、規制庁チギラです。この施設評価における設計上とか中についてはまた、まず以降も、ヒアリングで確認をしていって、それで
1:26:54	この扉のですね、会合とかで確認をする際にですねまたその考え方とかをですね説明いただければというふうに思いますので、
1:27:05	それでよろしいでしょうか。はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。
1:27:09	今後アノと、
1:27:12	当社の考えをまず説明させていただきまして、
1:27:16	不足してる部分はヒアリングの中で随時説明させていただいて、最終的には協力対策工につきましては介護案件だと我々、論点だと認識しておりますのでその中で、
1:27:27	また防波壁の方、介護とあわせてご回答をさせていただくと考えております。以上です。
1:27:34	はい。よろしく申し上げます。私からの2点目なんですけど、これも参考資料で597ページ。
1:27:40	⑥の資料の597ページの参考資料1のところ、
1:27:46	防波扉のところ小型化されたということで、
1:27:53	それはわかったんですけど、が1ポツの概要の2行目のところで漁船等の漂流物が、防波扉に直接、
1:28:04	衝突しないということですね、この
1:28:08	ヨセン等の等なんですけど、漂流物、
1:28:12	なんですけど、
1:28:13	対象の漂流物っていうのは
1:28:17	漁船がチャンピオンなんですけど、それ以外にですね利食い構内陸域で対象の漂流物って選定をされていたと。
1:28:27	思っていて、荷揚げ場の詰所、これが瓦れきでありますとかですね、あとは防舷材とか枕木とかそういったものっていうのは浮遊をするという評価をしていたんですけど、
1:28:39	それがこのですね今回の水密扉のところ表、衝突荷重として、
1:28:47	考慮
1:28:49	するのかもしれないのかってしないならシナリの理由っていうのが必要になってくると思うんですけどそのあたりの説明がなかったんですけど、ちょっと説明いただけますか。
1:28:59	はい。中国電力のセイキです。資料の600ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:09	一番上に平面図をつけておりました、今回つけます扉は海側ではなく、陸側の方に設置するものでございます。防波壁の
1:29:19	その他の一般部と同様に、2400、海から下がったところに扉をつけるということで、その間口広い海に開いていますところの開口も70センチと。
1:29:32	非常に狭くなっておりますので、漂流物については考慮しないということを考えております。
1:29:42	基本的に言うとな、その船は、この間に入ってくれないんですよね。だから衝突しないとわかります。
1:29:49	ただし
1:29:51	材木とかね、丸田とか、そういった。
1:29:55	物が漂流物として非荷重として拾ってますよね。
1:29:59	書評物図書、衝突荷重の
1:30:02	話でね。
1:30:04	だからそういったときに、
1:30:05	基本的に言うと、これらがその隙間に入るか入らないかっていうのはわからないですよ。
1:30:12	現実的にどういう形であれば、
1:30:15	山賀って、根井横井、長井ナガタのものが長手方向に流されて汀線ん、平行方向に、
1:30:23	だったら入らないかもしれないけど、それがまっすぐ訂正直行方向に、丸田とか、軸が向いてる時は、
1:30:33	入らないって可能性はないですよ深さ、嘘。津波高さは最大限の荷重としては、向こうは高いんだけど、自主的には、そう、基準津波って、ある程度その波がこれこも繰り返されてるわけだから、
1:30:47	ある一定の高さでこの高さになるっていうことがあるわけで、お墓みたいに一発来たらもう終わりという話じゃないので、
1:30:55	そういったことも2人、深津さんから考えると、少なくとも
1:31:00	漂流物衝突荷重のところで拾っている。
1:31:04	紙をショートする可能性があるものとして選んでいる最中で、
1:31:08	この隙間の中に入り込むのはある程度見見込んでおいた方がいいんだと思うんですけど大して大きな価値じゃないと思うんですけど。
1:31:16	うん。ロジックとしてはいかがですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:13	規制庁の江寄ですが、基本的に言って、ショートしにくいというのは事実です。でも衝突しないという可能性はゼロですとは言っていないわけですね。
1:32:23	である以上は、そう。
1:32:25	リスクはゼロではないわけだから、それなりの荷重は見ないといけないんだと思いますがいかがですか。
1:32:32	中国電力のセイキです。
1:32:34	検討させていただきます。
1:32:37	間口が狭いということもありますし、流速が今湾内すべてで考えているような早い流総がそのまま当たるのかということも、
1:32:48	含めて検討したいと思います。
1:32:53	規制庁の植竹です。確か女川ではかなり深い、
1:32:57	なんていうかな、浅いところ。
1:33:00	にもそう、いわゆる、
1:33:02	これは止水ゴムとか、ああいったものの津波防護の観点で、確か日、
1:33:09	小動物相当荷重の値自体は返ってたと思うんですよね。そういったものも含めて
1:33:16	状況に応じて、必ずしもそう最大限見なきゃいけないのかっていうわけではないと思うんでその辺も含めてですね。
1:33:23	最大限見て計算して持つんであれば、それにこしたことはなくて、
1:33:27	それである程度リーズナブルに考えない合理的に効率説明の合理性があるんであれば、それはそれでまた説明。
1:33:34	レアケースっていうか個別の対応ということで、個別ケースということで、設計として、判断する必要があるとは思いますが。ただし、それをある程度その上位文書にも、
1:33:46	ちゃんと書かないと、そこに何か
1:33:51	ごまかしがあるかな図書になっちゃうんで、不透明な図書だとそれをごまかしがあるように見た方が見られてしまいますからねこの業界というのは、何で基本的にそこはしっかりと、
1:34:01	上位文書も含めて訂正するべきところはちゃんと訂正していただきたいとその合理性の説明がなされればですけどね。
1:34:08	よろしくお願いします。
1:34:11	はい、中国電力カシマで承知いたしました。
1:34:15	はい。
1:34:16	そこはお願いします。すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:21	今のところでの的には、これって、当然
1:34:27	途中、鋼管式の要は、取水駅って言われてるコンクリートのところを前面にはまだ説明がない。
1:34:35	コンクリートの塊があるわけですよその寸法というのは、何らしか、
1:34:40	この絵の中には反映されないでしょう。
1:34:42	ただそれがナイトウすね、説明はちょっとわかりにくいのかなと思っていて、
1:34:48	中国電力のセイキです。申し訳ございませんこちら防波壁の他の断面と同様に 50 センチの壁が前面に漂流物対策工としてつくっていいものですが、この図面の方にはまだ反映できておりませんでした。
1:35:03	すいません、手でちょっとわからなかったのがこの 600 ページの図の中で、平面図ってありますよね、図 1-3-D。
1:35:12	平面図のところ左側、陸側の方に、
1:35:15	30 間、これ 40 カネオカ、
1:35:18	これ新たに打ち込むんですよこれ何の目的で打つのかよくわからなかったんですけど、
1:35:25	中国電力のセイキです。こちらのA国の方、
1:35:31	国のですね剛性を高めるという目的で打つことを考えておきまして、防波壁の一般部として先日ご説明させていただいたところ、杭の間隔は 2500 ピッチで入っております。で、
1:35:43	こちら平面的に見ると 5000、開いておきまして、それを盾に杭を 2 本配置することで同様の一般部と同様の構造としているということです。
1:35:54	すいませんその辺がわからないのは、フーチング基礎が、
1:35:59	連結されてないから、ツチヤ、いわゆるさ、鉄筋っていうのはっていう話と近いような理屈なんだけど、用心鉄筋とかモンマシ鉄筋とかね開口部で
1:36:11	足りない部分もあると補強していくっていう話でわかるんだけど、でも、介在として部分が土なので、土厚で改善しててそれが何か補強になってるのがちょっと理屈的によくわからない。
1:36:22	いわゆる、
1:36:22	鉄筋コンクリートあったコンクリートという一体のものの中で、その鉄筋があるわけで、それは施設として、一つの部材、あれですよ部位という観点の中のその中の一部の、
1:36:34	構成要素で鉄筋がいつてるわけなんだけど、
1:36:37	これはコンクリートとコンクリート、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:39	ある程度、
1:36:41	連結されてるって一体性を持ってるといって考え方になってるけど、ここにおいては、
1:36:46	別にそうフーチングの部分が、
1:36:49	何ていうんでしょう。
1:36:51	もう連結されてるわけじゃないですね、図面的に言うと。
1:36:55	中国電力のセイキです図面の方では連結部分が記載できておらず申し訳ございません杭、今、
1:37:04	ピンクで被覆コンクリートまで覆っているところは、ATP15 メーターまでありましてその後ろにある、敷地内の杭の方は、敷地高さ 8.5 メートルまでありまして、
1:37:16	杭 8.5 メーターの杭等につきましては杭と連結ということで、杭の方連結することを考えております。
1:37:25	例えばね、あと、その他地下の中で、この 600 ページのこの平面図で上の平面図で見た時に、
1:37:33	秋田って杭と杭新設する企業二つの 40 巻の杭はあれですか
1:37:40	ある程度モルタル。
1:37:43	そん中で連結するじゃ連結したらおかしいんだけど、
1:37:46	不具合だーもモルタルが充填されてるようなイメージなんでしょうか。はい。中国電力ヨシツグでございます。
1:37:54	多重交換分子溶液の時にスパンが飛んでいるところで国の連結、
1:38:00	構成例の連結材、板東でつないでおりましてその中のコンクリートモルタルモルタルだったと思いますけどそれで充填させて、杭頭の部分を連結させるという構造を、
1:38:13	今回のここにも同じような構造でさしていた、ちょっと
1:38:17	図面とかそのあたりの情報がちょっと足りておりませんで申し訳ございませんでした。
1:38:21	すいませんこれからなのかもしれないんだけど、この総会広告、新たに追加されたところ、日本の二つの前後する。
1:38:32	杭鋼管杭は、
1:38:34	設計としては一本として設計する。
1:38:37	というのにすごく日本として設計する、それによってはその連結の仕方とか藪田連結の信頼性ってすごく重要なんだけど、念のために打ってあるのか。
1:38:48	それとどっちなんでしょうか、設計的には。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:52	はい。中国電力ヨシツグでございますこアノ。
1:38:56	地表面以下は2本の杭を連結させたということではねでそれぞれつないだもので、上側、
1:39:04	衛藤、
1:39:05	先ほどアノセイキが申しましたように、9イトウの処理をさしてもらっていたものと、あと中の一番最打ち感が一番上まで上がっているという構造で、
1:39:18	被覆コンクリートの壁を鉄筋コンクリート製まわしていくと、そういったものでございます。
1:39:30	で、連結ダイ自体については線形の範囲内で、
1:39:34	十分もつということをご説明させていただいております。それと同じような設計を今回考えております。以上です。これは今後また説明されるということで理解しましたので、ありがとうございました。
1:39:51	はい。規制庁木田です。すいません私の3個目ですけど
1:39:55	⑥-1の603ページで、これはすいません
1:40:00	檀、先ほどのやりとりの中で大体解決したので念のため確認なんですけど、
1:40:06	防波扉の中枠なんですけど、これ、
1:40:11	これはこれ一の、
1:40:13	波及化の対象っていうのは、
1:40:17	ですね
1:40:19	漂流物対策コウノ。
1:40:22	と鳥居RC地球っていうのも、上位クラスで
1:40:26	というふうに理解をしたので、この医長だから対象にはなっても、
1:40:32	耐震性が確保できているので、大丈夫ですっていう、そういう説明ですよ。
1:40:38	中国電力のセイキです。はい。ご認識の通りでございます資料の方では、概要の冒頭のところ上位クラスである防波壁に対してという記載しかございませんで、
1:40:48	追記するようにいたします。
1:40:50	はい。よろしく申し上げます。私からは以上です。
1:41:02	はい。規制庁の仲村です。私からも何点か確認とさせていただきます。まずは資料6のですね、
1:41:11	72ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:20	で、ここちょっと 72 ページ、図があるんですけども、ここでちょっと確認したいのが、鋼管杭のところの、
1:41:31	岩盤の中に入っている値入れの長さなんですけども、
1:41:36	当然、
1:41:40	逆Tのグラウンドアンカーを打ってるところで入れ長の話があったと思うんで、当然この長さも、50 センチとかそういうもんじゃないとは思ってますけども、
1:41:52	72 ページの下の図を見てると、
1:41:57	それ以上かなと。上の図を見てると左日本は何か、それ以上ありそうなんですけど右二つがちょっと身近そうだけどこれ本当に大丈夫ですかっというところで、
1:42:07	根入れ長がわかれば教えて欲しいのと、図示してもらいたいということなんですけど、いかがですか。
1:42:19	中国電力のセイキです。こちら逆T擁壁の間にあるというものではございません多重鋼管杭の間にあるということで値入長の
1:42:31	確保できていると思いますが今すぐに
1:42:35	お調べできる資料を持ち合わせておりませんので改めて回答させていただきます。
1:42:40	はい。
1:42:42	多分、50 センチ以上はあるとは思ってますけど、図的にはですね、ちょっとそれは調べて、念のためということで、
1:42:53	50 センチ以上あるというようなところはちょっと図示をしておいてください。続けてですけども、
1:43:02	これは資料でいうと 70。
1:43:07	6、
1:43:08	77 ページとかがいいですかね。先ほどもちょっとコースの中でですね絵があって一つずつのパーツが、
1:43:17	であるんだけどっていう話もあってここでも 77 ページのところですね
1:43:24	上の方で、
1:43:25	その辺りのところがあって、下が基礎スラブがあってってなってるんですけど、当然連結されてると思うんで、そういうところの構造とか配筋とか、
1:43:37	そういうところの図っていうのは示してもらいたいと思いますんで、4 種類、扉があるじゃないですか。そのうちに、1 種類だけ、3 号機の東側かな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:49	だけは何かこう図があったんですけどそれ以外のところ、今これは一つだけ言ってますけど他のところも含めてですね、そういう、
1:43:57	ちゃんと構造がわかるように示してもらいたいと思いますけどいかがですか。中国電力のセイキです。承知いたしました基礎のフーチングとR Cの連結部ということで、図面のほうを追記させていただきます。
1:44:10	はい。あとすいません。それに、
1:44:13	関連するというか、ちょっと 72 ページにちょっと戻っていただいて、
1:44:19	72 ページの、ここちょっと確認したいのが、
1:44:23	上の図ですね。
1:44:25	で、上の図で左側に、
1:44:30	これは、
1:44:32	防波壁ですよ。があって、
1:44:35	この絵でいくと下に交換があってその下に、右側に基礎スラブがあるんですけど、
1:44:43	これって基礎スラブとは、接続はされてないんですか、どう、接してるとか、どういう構造関係になってるのかっていうのが、
1:44:54	ちょっと教えてもらいたいんですけど。
1:45:03	中国電力のセイキです。
1:45:07	ページの 604 ページをお願いいたします。
1:45:23	こちらの、先ほど来説明が足りずちょっとわかりにくい図面とご指摘いただいたところで今後修正させていただくんですが、多重、
1:45:32	604 ページの多重鋼管杭の防波壁が左側になりまして、そのすぐ右側がフーチングということで、
1:45:42	木曾の方はこちらのフーチングの方と多重交換の方は、再度確認させていただきますが繋がっていなかったと、記憶しております。以上です。
1:45:54	わかりました。
1:45:56	構造のことはまた話あるかもしれないですけど、とりあえず図では、わかるようにその辺、接続ですね、はかるような形でですね、議論のためにもお願いします。
1:46:10	あと最後、
1:46:11	5 ですかね。先ほどからあるように、図がちょっとわかりにくいところが多くて聞くのもあるんですけども、
1:46:18	最後は 329 ページ。
1:46:27	で、まずお聞きしたいのが 329 ページで、上の図があるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:36	改良地盤を交換するような形でグラウンドアンカーが入ってると思うんです。
1:46:41	けど、これは全部でこのほう素
1:46:44	本数。
1:46:45	8本ぐらいだけなんですか、それともこう、もっとう均等に入ってるのを間引いてを書いているんですか。
1:46:53	この絵からいくとぜ。
1:46:56	本数だけみたいに見えちゃうんですけど、
1:47:03	中国電力のセイキです。こちら確認させていただくんですが海側陸側ありましてその、どちらか一方記載すると、このような本数であったというふうに記憶しております。
1:47:18	ちょっとすみません規制庁仲村ですけど、断面がどういうふうにとっているかっていうのがはっきりわかんないからあれですけど、
1:47:27	均等には配置しているということなんですかそれは、中国電力のセイキです。
1:47:35	アンカーの位置につきましては、こちら逆T擁壁の第19ブロックということで、すでにアンカーのところは、説明させていただいたところもありますので、そちらの資料もつけながら再度説明させていただきます。
1:47:49	はい、わかりました。ちょっとが何とも。
1:47:53	どれが正しいかっていうのがわからないんで今、
1:47:57	ちょっとコメントできないですけどもちょっとそれは次回、す。事実をちょっと確認していただいて、説明してください。
1:48:07	あと、これ、
1:48:10	グラウンドアンカーっていうことは、定着長偶数岩盤の中に定着してるわけですよ。そうするとこの絵で見るとなんか定着長のところ抜けてますよね。
1:48:20	ちょっと細かいところですけどそういうところも含めてですし、
1:48:26	ですね。
1:48:29	承知いたしました。
1:48:33	とりあえず私からは以上です。
1:48:57	規制庁の服部です。細かいところを何点か確認させていただきます。
1:49:03	すいません補足説明資料で読めばよかったんですが添付の方から読んでしまったので、添付の方でちょっと確認をさせていただきますが、
1:49:13	お願いします。
1:49:15	まず2番の4番の資料の42ページなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:22	図の 2-3 の、この右側の防波壁
1:49:27	防波扉、括弧構成額って書いてあるところの下の杭なんですけど、
1:49:32	これ先ほど
1:49:35	背面 2、2 本あるとかいう話が少しあったんですが、これっていうのは、1 本の杭
1:49:43	なんですよね。
1:49:50	中国電力のセイキです。42 ページの方、
1:49:55	1 本の杭でございましてフーチングの、先ほど説明させていただきましたように感覚で、4 本杭が、
1:50:06	あるというようなものでございます。
1:50:09	規制庁のハツリですはいちょっと紛らわしいかったので、この真ん中の線が、もしかして 1 点破線で細いとわかるんですけど、
1:50:19	同じ太さなので 2 本あるかなって勘違いしてしまったので、
1:50:23	もしできればこの線を取っていただくカー、細井。
1:50:28	一点鎖線にさせていただくか、何とか工夫をしていただけますかどうぞ。
1:50:32	中国電力のセイキです。承知いたしました。
1:50:37	規制庁のハツリですはい。
1:50:39	それ等、次の 44 ページの、
1:50:44	図の 2-5 の(1)なんですけど、
1:50:48	これが少しわからやっぱ先ほどから少し
1:50:53	どういうふうに断面を切ってるかってのはわかりやすいっていうはわかりにくいという話が何かあったんですけど、私の感覚が間違っていたら、
1:51:00	えっと言ってください。
1:51:02	これは、この一番右側にあるのがー
1:51:06	受け、受け枠。
1:51:09	というものだなとちょっとこれを見て思う。
1:51:13	たんですけど、
1:51:14	そうすると、
1:51:16	41 ページ。
1:51:19	この 3 次元を見ると、
1:51:22	受け枠の方の、
1:51:25	が、
1:51:26	近くにある防波壁は、
1:51:29	荷重交換後意識擁壁で、
1:51:31	そのトイメンにある方が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:34	逆T擁壁というふうに見えるんですけど、
1:51:38	この断面を切る等、
1:51:41	受け枠から遠い方が一多重交換儀式擁壁になってるんですけど、
1:51:47	これ、どういうふう断面を切ってますか。
1:51:50	はい。中国電力のセイキです。41 ページの図面をお願いいたします。
1:51:56	こちらの黄色で記載した、値上はミナミの防波扉につきましては、多重鋼管ぐい擁壁の中に左右両方とも支持されているというような、
1:52:08	ものになります。で、多重交換運用費が少し続きまして、途中折れ曲がっているところから逆T擁壁という構造に変わるというものでございます。
1:52:20	多重交換、フクイ擁壁のアノを示す矢印のがちょっと足りていなかったと思いますので、追記させていただきます。
1:52:28	規制庁のハツリですわかりましたそうすると。
1:52:31	これ左側 44 ページの図の 2-5 の(1)の左側の防波壁網が多重交換用ヒダけども、
1:52:41	右側の、
1:52:43	防波壁も超えた重厚感の意識擁壁だ。
1:52:47	ということよろしいですか。
1:52:49	中国電力のセイキでその通りでございます。
1:52:53	規制庁の服部ですはい。わかりました。ちょっと、そうですね。
1:52:58	破線かなんかで多重交換が入るとちょっともう少しわかりやすかったのかもしれないんですが。はい。ちょっと理解をいたしました。
1:53:06	それ。
1:53:07	藤。
1:53:09	例えば、この 43 ページ。
1:53:13	これはちょっとわかりやすいの観点からなんだと思うんですけど、
1:53:17	例えば 43 ページにあるような正面相撲。
1:53:21	どこで切ってるかが少しわかりにくくて、42 ページに平面図はあるんですけど、
1:53:27	キープランはあるんですけど、
1:53:29	たとえバー。
1:53:31	41 ページの 3 次元のモデルのヤシを切っていただいて、
1:53:37	ければもう少しわかりやすいかなと思ったんですが、
1:53:41	いかがですかこれは要求ではなくて、提案ということですがいかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:47	中国電力のセイキです。承知いたしました。
1:53:50	規制庁の服部ですはいそれで
1:53:55	それに、そこで断面がわかる等後しとんこの
1:54:00	次から次へと図面が出てくるんですけど、その図面にできれば八潮それぞれ入れていただいて、下に括弧で足を書いていただくと。
1:54:09	その図面からこう芋蔓式 2 次はどういうふうに切ってたなっていうのがわかってるので、
1:54:16	44 ページの方の図の 2-5 の(1)を見ていただくと、A断面ってのがせっかく入ってるんですよこれ。
1:54:24	いやしとして、それが多分この(2)の方だと思うんですが、
1:54:29	下に括弧してA断面とか書いていただけると、ここで切ってみえるここで切ってたなっていうので、そういう感じで、芋づる式に断面がこうとんどん展開されていくような、
1:54:41	工夫も下手していただけると、よりこうわかりやすいのかなと思うんですがいかがですか。はい。中国電力のセイキです。承知いたしました。
1:54:51	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:54:54	あと 53 ページお願いします。
1:55:03	防波扉評価項目というのがあるんですが、
1:55:12	これ
1:55:13	ちょっと確認なんですけど、
1:55:15	この戸当たり部分。
1:55:17	というのは、
1:55:19	基本的に、
1:55:21	荷重を、
1:55:22	防波壁に預けてる。
1:55:24	ということでよろしいですか。
1:55:27	中国電力のセイキですこちらの方中鋼管杭の方を期待しております。
1:55:33	規制庁のハツリですはい。わかりました。
1:55:37	そこであるRC支柱というのは、
1:55:40	例えば先ほどのミナミ、
1:55:43	ごめんなさい、ごめんなさい。
1:55:45	土産はミナミのものになると、このRC支柱というのは、防波壁そのものだというのでよろしいですか。
1:55:55	中国電力のセイキです。棒廃棄そのものではありませんが廃棄と縁を切っております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:05	少々お待ちくださいアノ説明している図面がありますのでそちらの案内させていただきます。
1:56:16	中国電力のセイキです 45 ページの方をお願いいたします。
1:56:25	45 ページの上の図になりましてこちら平面図を見ております。
1:56:32	防波壁の方から鉄筋を取りましてこちらでパッタようなものが二つございまして、こちらの方がRCC中の頭廻りということで期待している部隊となっております。
1:56:45	規制庁の服部です。RC支柱と呼んでるのは、この出っ張った部分の上から下までが長くあるので、それが 40、
1:56:54	このような格好してるのでそれをRC支柱という、言ってるんですか。中国電力のセイキですその通りでございます。規制庁の服部です。それでこのRC支柱は、防波壁の
1:57:07	被覆コンクリートに定着させてるということでよろしいんですね。
1:57:13	中国電力のセイキですその通りでございます。
1:57:16	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:57:18	その防波壁が受ける荷重というのは、
1:57:22	ナガエ年内っていうか、長手方向なので、
1:57:27	これは計算をしなくても、
1:57:29	十分に補
1:57:32	安全性が保てるだろうという考えということでよろしいですか。中国電力のセイキですご認識の通りでございます。
1:57:40	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:57:43	それともう 1 点
1:57:46	防波とびだ一の構造の中には、MMRというのがあるんですけども、
1:57:52	この防波扉に関してはMMRの評価、
1:57:56	というのはしないんでしょうか。数
1:58:03	対策公表リブツ対策法があると思うんですけど、
1:58:06	何かそこでの評価項目としてはMMRなんか滑り安定性とか何か、
1:58:11	そういうのが入ってた気がするんですけど。
1:58:15	防波扉のMMRについてわあ、
1:58:19	これ、MMRそのものがないんですけどどうぞ。
1:58:22	中国電力の織田です。衛藤。
1:58:25	こちらで、
1:58:26	補足説明資料をちょっと用いまして、
1:58:32	少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:43	70 ページをお願いします。
1:58:50	こちら、縦断図を示してるんですけども、漂流物対策の直下にMMRが ございます。
1:58:57	で、こちらの評価なんですけども、
1:59:05	82 ページをお願いします。
1:59:12	こちら秤量対策の評価項目の一覧なんですけどもこの基礎地盤の支持 性能の評価を行っているんですけども、基礎地盤申請の中にMMRの 接地圧の評価というのを行っていますで、それプラス補説では、
1:59:24	局所安全係数を見まして、せん断破壊で引張赤井の分布っていうのを 見ております。以上です。
1:59:32	規制庁の服部です。
1:59:33	ということは、MMRはこの基礎地盤に含まれてるというそういう立て付 けで記載をしているということで理解をしました。
1:59:52	規制庁の方でちなみに、明日の資料は、
1:59:55	それは開けてませんか。
1:59:57	MMRはMMRとして何か分けて記載してたような気もするんじゃなく て、すいませんちょっと私も、
2:00:05	明日の資料持ってないんで記憶が曖昧なんですけど、はい。中国電力ヨ シツグでございます。おそらく、波返し重力擁壁の暴排キーの資料では ないかと、明日ご説明されそこでは、もしかしたら分けていたかもしれま せん。ちょっと、もし、
2:00:21	記載が統一できなければ、ちょっと考えさせていただきたいと思います。 以上です。
2:00:28	規制庁のハツリですはいわかりました。
2:00:30	111 ページお願いします。
2:00:33	ここは記載のちょっと確認なんですけど、
2:00:40	す。上から 3 行目。
2:00:43	防波壁側を固定として、
2:00:48	水平荷重を受ける。
2:00:51	片持ちばりにモデル化して計算しというのは、
2:00:56	この出っ張った部分、おそらくこのイメージからすると曲げはかからずに せん断しかかからないようなイメージもあるんですけど、
2:01:04	これも一応曲げとかもかかるような形の、
2:01:09	片持ちばり計算をするということでよろしいんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:15	中国電力小田です。ちょっと該当ページ探す者がしますので少々お待ちください。
2:01:27	中国電力です。同資料の 138 ページをお願いします。
2:01:36	こちら防波扉の構成額の調査結果をお示ししているんですけども、防波堤RCC中については、曲げ引張曲げ圧縮、せん断について、片持ちばり。
2:01:47	として評価しております。以上です。
2:01:51	規制庁のハツリですはいわかりました。ほとんど曲げが出てないということも確認できました。
2:02:09	規制庁の服部です。
2:02:11	278 ページをお願いします。
2:02:20	これも確認なんですけれども、
2:02:23	ここで今
2:02:25	改良地盤の範囲を赤い枠で囲ってる。
2:02:30	と。
2:02:31	思います。
2:02:35	図面を見る等、
2:02:37	この左側にもう改良地盤が、
2:02:41	続いている。
2:02:45	ようにも見えるんですが、
2:02:49	それはいかがですか。
2:02:58	中国電力はです少々お待ちください。
2:03:11	中国電力の織田です。ちょっと確認なんですけども、同資料 327 ページ。
2:03:22	瀬戸、失礼しました
2:03:25	資料 6 の補説の
2:03:27	327 ページ。
2:03:35	こちらの縦断図の江藤北川にある加地伴 12 のことを、おっしゃっている、合ってますでしょうか。
2:03:45	規制庁のハツリですそうですね多分。
2:03:48	ちょっと私も昨日見て記憶曖昧ですけど多分この断面を見てるんだと思います。
2:03:54	中国電力の尾田です。こちらの改良地盤につきましては、役割に期待した上でモデル化しておりますので、先ほどお示しいただいた改良地盤につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:05	水の通り道ならないと、遮水機能を持たせる、持ってるかどうかを確認するために、防波扉直下の改良地盤についてはモデル化して滑り安全率の評価をしています。以上です。
2:04:17	規制庁の服部です。まずこの
2:04:21	300 阿保節の 327 ページと 278 ページの図ってというのは断面というの
2:04:27	は
2:04:27	整合してるんですか。
2:04:31	中国電力の織田です。はい、井藤伊井と一致しております以上です。規制庁の服部ですそれで、
2:04:38	この改良地盤 12 とか改良地盤 3 ってるのは、かなり
2:04:44	北側に広がって、
2:04:47	ちょうど岩盤が水平になったところまで、
2:04:51	改良地盤があると思うんですけど、
2:04:53	これは今、添付資料の 278 ページの範囲あたりで、
2:05:06	切っていて、その左側に、その北側にある改良地盤一、二っていうのは、
2:05:12	ここでは改良地盤 12 とか 3 とか書いてあるんだけど埋め戻し度で、
2:05:17	表。
2:05:18	モデル上は評価してるってことなんですか。
2:05:22	中国電力小田です。すみません
2:05:24	補説の 375 ページをお願いします。
2:05:36	こちらが 3 号機東側の FEM モデルの解析モデル図を示しております。先ほどおっしゃっていただいたような内容が、この図に示してあります。衛藤。
2:05:47	水安全率赤枠で示してる範囲が改良地盤位置に、それより北側につきましては梅田でモデル化していることをこの図で示しています。こちらのご説明で合っておりますでしょうか。
2:06:02	規制庁のハツトリですわかりましたじゃちょっとこの、
2:06:06	何だろう。古瀬津野 327 ページのこの、
2:06:09	範囲と少し違うっていう、モデル化上は違うということですね。ちょっと、
2:06:14	何でこんな狭いんだらうなっていうのが気になったんで確認したんですが、そういうことだというふうに理解をしました。
2:06:33	規制庁の服部です。
2:06:35	6 番の資料の 131 ページをお願いします。
2:06:50	今回の検討に於いて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:52	杭の先端にわあ、おそらくこれ引き抜きに抵抗しないように、
2:06:57	非線形バネー
2:06:59	をつけてるんだ。
2:07:01	と思うんですけど。
2:07:02	これって一、あれですかねこれまでの多重交換ゴイシキ擁壁とかそういうところにもつけてるんでしたっけ。
2:07:11	中国電力のセイキです。多重交換後擁壁については、ビームの一本棒でモデル化しているということで、つけておりませんこちらの方。
2:07:22	B群の上にフーチングもありましてこちらの方にローテーションまでをモデル化しているというものになります。
2:07:32	規制庁のハットリです一本棒なんで、
2:07:35	引き抜けが出ないんで、それは考慮しないと、これについては引き抜きが出る。
2:07:41	評価になる可能性があるんで、非線形ばねをつけて、引き抜きに対して、共有してる接点が費戻さないように、線形ばねをつけてるとということなんですね。はい、わかりました。
2:07:58	規制庁の服部です 133 ページお願いします。
2:08:02	これは少し確認なんですけど、
2:08:05	今回行動せん断弾性係数の設定については代表値を示しますって書いてあるんですけど、
2:08:12	これってあれですかね、代表値にしないと。
2:08:18	それぞれどこにどういう物性値を設定してるかっていうのを全部書くと。
2:08:24	結構大量な何だろう。
2:08:27	資料になってしまうので、ここは代表値を書いているということなのか。
2:08:32	それともう、この範囲はこれでやってますこの範囲は、有効深さをこれにしてますっていうのが、確か。
2:08:40	防波壁の方でもあったと思うんですけど。
2:08:43	結局は、区分を家区分をそれぞれ既決めて、
2:08:48	それなりにここ 2、
2:08:50	併記できるような数なのか。
2:08:53	説明していただきます。
2:09:01	あ、中国電力のセイキです。
2:09:04	こちらの記載防波壁のほうの記載と合わせて記載させていただいた。
2:09:09	もので、背FLIPの設定の方も同じようにされているものと思いますが、ちょっと改めて確認させてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:22	はい、中国電力ヨシツグでございます。ここはあの、すいません、今、羽鳥さんおっしゃられた通りで、その層厚によって、実際は書いております。地盤の支持性能の方で、
2:09:34	書いておりますのが標準平均的になっていうのを、を載せてこの数字を載せておまして、それを
2:09:41	各
2:09:43	構造物のところで示しております。で、
2:09:47	衛藤。
2:09:48	その考え方はどうかってところは、確か何かの資料、確か地盤の支持性能だったと思いますけどそういうことでご説明の方の資料が入っていたと思います。以上です。
2:09:59	規制庁の服部です。ということは、地盤の恣意性のもう代表値が書いてあって、
2:10:06	そこは代表値ですよってということが書いてあって、代表値なので、それぞれの断面とか、
2:10:16	切った断面とか、施設に応じて、有効深さを横尾深さかな、
2:10:23	有効度かぶり厚を設定してそれぞれ決めますよってということがそこでわかる。
2:10:29	よくなっていて、ここはその代表値を、
2:10:34	変えそこそそっちの方持ってきたということでしたっけ。どうぞ。
2:10:44	はい、中国電力吉住でございます。
2:10:46	これ、
2:10:48	確かに12号機たのところを代表として計算をしたやつを、確か地盤の支持性能の方では記載をさせていただいたような気がしますので、ここではこの辺りを、
2:10:59	おそらく使ってるんじゃないか、そこは確認をさせていただきますけれども、
2:11:04	他のもっと
2:11:06	丹後北川の方のところでは多分違った値を使っていたと思いますので、
2:11:11	標準的になっていうのは、確かそういった書き方を地盤の申請の方ではさせていただいたと思います。以上です。規制庁の羽鳥ですわかりました。ちょっと思ったのは、
2:11:22	数がそんなに区分けされてて数がそんなに多くなければ、この範囲はこれや、これを使うこの有効とかぶるやつでこれを使っていますよっていうのを、併記してもいいのかなと思ったんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:33	そこら辺でちょっと、この代表って何ですかっていうのを確認したんですが、今の説明で、
2:11:39	それぞれたくさん、
2:11:42	それぞれの断面で有効ドカーブ率を設定して決めているということなのでこれで了解をいたしました。
2:11:51	規制庁の服部です 30606 の資料の 386 お願いします。
2:12:05	防波扉の基礎の下には、
2:12:08	ジョイント要素をつけている。
2:12:13	D5 張りの下には、ジョイント要素をつけていないということよろしいですか。
2:12:26	中国電力の織田です。こちらの図でお示しているように 5 割のところにはジョイント要素を設けておりません。
2:12:33	以上です。
2:12:37	規制庁のハツリです。
2:12:39	少しちょっと確認なんですけど、
2:12:41	十河張りの役割。
2:12:44	次第上に踏査をつけるかつけなかって多分変わってくると思うんですけど。
2:12:50	感覚的に少し、
2:12:52	今、
2:12:53	ピンとこないんですけど、棒張りの下にワーつけなくて、
2:12:59	いいんですかねつけなかった理由って何かあります。逆につけてはいけないかもしれないとちょっとす。今ちょっと頭が、
2:13:08	働かないのできちと、
2:13:11	論理的にどうかなってというのがちょっと思い浮かばないんですが、そこら辺、
2:13:15	考え方だけ説明してもらってもいいですか。中国電力のセイキです。同じく補足説明資料の⑥のうちの 380 ページをお願いします。
2:13:30	こちら、
2:13:33	こちら、今ご指摘いただいたのは、この 380 ページの下の図の 5 バリーのことを、ご指摘いただいたかと認識しております。
2:13:43	こちらにつきましてはフーチングとRCの縦壁の方が的に繋がっております、剛なものであるということです。で、
2:13:53	それをビーム縦壁の方はビームで表現するということで、5 張りの方を入れさせていただいているというものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:26	規制庁の服部ですはい説明はわかりました。ちょっともう1回私も考えてみますけど。
2:14:35	多分入れるのと入れないのでは音が変わってくるかなあと思うので、
2:14:41	5張りだからなあという気もするし、
2:14:46	ちょっと私も少し考えさせてください。
2:14:56	幅野規制庁の服部です。あと二つほど、
2:15:00	638 ページをお願いします。
2:15:06	特にここ、ここでということではないんですが、
2:15:10	この図、
2:15:12	この底部の水密ゴムについて、
2:15:16	これ、どこかのところ
2:15:18	開閉ジワー上側にスライドして、接触しないように、
2:15:25	して、開閉しますと。
2:15:28	で閉止してから、
2:15:30	その下に、
2:15:32	こう、スライドさせて、押し付けることによって、
2:15:36	水密性を確保しますと。
2:15:38	いうことで、
2:15:40	基本的に扉の開閉時2も押したりはしません。
2:15:45	ということを、
2:15:47	どこか維持管理の観点から、
2:15:51	何か少しどこかに記載していただくことはできますか。どうぞ。
2:15:57	中国電力のセイキです。こちらの方ですね、
2:16:02	非常に隙間がたくさんあいあいていて閉める時に下げて抑え、というものではございませんで高さとしては、移動しながら
2:16:13	というものになります。構成力こそがないかというところで、ぎりぎりのところを設定させていただいて扉を開けるときには、
2:16:21	そのまま落ちないように水をまいて摩擦を少なくして開け閉めするということを行っているようなものでございます。
2:16:31	あ、規制庁のハットリです。そうなんですね。
2:16:37	一応、睡眠性を確保するためにある程度底盤に押し付けたような状態であるわけですね少しね、ちょっとなるべく摩擦を少なくするような形で開閉するというので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:49	す、多少の摩耗はその時点で水をかけて、滑りを要求したとしてもするので、それはもうメンテナンスで交換していくというそういうことなんですか。中国電力のセイキでそのようなことを考えております。
2:17:04	規制庁の服部です。わかりました少し気になるのは、
2:17:08	どれぐらい摩耗したかってなかなか見てもわからないし、どういうふうに維持管理をしていくのかなと、私ちょっと気
2:17:16	これアノなんだらう、現地、
2:17:19	確認に行ったときに何かそういうふうに聞いたような記憶があって、
2:17:23	何かいろいろ考えてるなあと思っていたので、
2:17:27	そういうのであれば、非常にメンテナンスも定期的に、
2:17:35	それほど、
2:17:37	頻繁にやなくていいのかなと思ったんですが、ので少しこう書いていたただこうかなと思ったんですがそういうことだということで理解をしました。はい。中国電力ヨシツグでございます。現地確認の時に、私が言いましたですけれども、
2:17:56	えっと、別の、今もちょっと廃止をしてしまった扉のところではそういったもので、ここは非常にちょっと声が大きいのでく上げるという構造ができてないので今言ったものになっておりますんで、
2:18:09	点検等につきましては保守管理の方のQMS文書の方に、どういった点検をするかっていうので、多分スケール等でちゃんと隙間がないかどうかというのを確認して、あとは、
2:18:24	摩耗すれば点検するっていう取りかえるっていうのを、頭記載をして、定期点検等の中で示していくんだと思ってますそこは
2:18:35	要領書のほう作成基準書の作成中でございますのでその中ではわかるようになると思っております。以上です。
2:18:41	規制庁のハットリですはいわかりました。側面についてるやつはね、閉めたらグッと押し付けられるような構造なので、主はしないと思うんですがちょっと底面だけ気になったので確認をしました。
2:18:52	最後になりますが 648 ページをね、649 ページお願いします。
2:18:59	ここ先ほど話のあった極的な荷重に対する評価というのがここで出てくるんですけど、
2:19:06	この
2:19:08	補助たてげたというのは、
2:19:11	どういう。
2:19:13	ダンメン。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:15	どういう断面性能、
2:19:19	を見ていて、
2:19:21	それをどういうふうに充てているか。
2:19:23	というのは、衝突荷重ですね。
2:19:27	これはちょっとわからなかったんですが、
2:19:32	Z絶等はどういうふうに考えているのかな。
2:19:37	というのでちょっと確認させていただけますか。
2:19:44	中国電力のセイキです。補助たてた詳細な鋼材の形状まで記載できておりません。Zとということで数値の方で、
2:19:54	を示させていただいているということになりますので、少しわかるような
2:20:00	ものをつけさせていただきたいと思いますイメージ図としては、評価の
2:20:07	そちらもすいませんついてないから今、
2:20:10	はい。今現状ついておりませんのでまたつけさせていただきたいと思
	います。以上です。規制庁のハットリですわかりました。ちなみにこれって
	溝畑校ですか。
2:20:26	1個。
2:20:27	中国電力のセイキです。
2:20:30	確認させていただきますが地溝のような鋼材を考えております。
2:20:36	規制庁のハットリですわかりましたHコウノ。
2:20:40	中心に当ててると感じるんですね。わかりました。はい。
2:20:44	ちょっと書いていただければわかりやすいかなと思いますのでこれは記
	載だけなのでよろしくお願いします。
2:20:50	承知いたしました。私からは以上です。
2:21:04	あ、
2:21:05	規制庁の谷口です。よろしくお願いします。
2:21:09	今もちょっとお話がやっぱりあったんですけど、
2:21:15	防波扉また商流物の対策コウノ。
2:21:19	構成のとび額についての構成とそれを構成している部材の話が先ほど
	ありましたけど、
2:21:28	どういう形で取りついているか、今、裁断面の話もありましたけど、それ
	を具体的に説明していただく資料をつけていただいて、その上で、
2:21:39	ございまこうい条件だからこうい評価をしたんだという計算の流れに
	なると思いますので、
2:21:48	これは先ほども出てましたけど、この構造と後世の主体の部分がどうい
	うふうに取りついて、どうい説明をしてるか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:58	ていうのがわかるものを用意していただけますでしょうか。
2:22:02	中国電力のセイキです。漂流物対策工の額の指示ということで、先ほど来ていただいております、モデル化も含めて、ご説明させていただくということで、承知いたしました。はい。よろしくお願いいたします。特に、
2:22:16	部材の名前でロックビームとかいろいろ書いてあったりしても、
2:22:20	何なのかわからない。そういうのありますので、わかりやすく教えていただければと思いますよろしくお願いいたします。
2:22:27	失礼いたしました。はい。よろしくお願いいたします。それから、添付資料、これは
2:22:36	4番目の資料。
2:22:38	ですけれども、130。
2:22:43	9ページ目。
2:22:52	これ
2:22:55	防波扉の基礎スラブのところの調査ですけど、
2:22:59	この曲げ軸力の難燃力図というのは、
2:23:04	どこ能力の断面力なのか、例えば合成ビームの
2:23:11	に発生してる応力だという話なのかこの辺、どういう形で、どういうふう
2:23:22	に断面トクダしたかをして教えてください。
2:23:22	中国電力の宇田です。防波扉の基礎スラブは、ビーム要素でモデル化しておりますので、そのBSの断面力になってます。回答になっておりますでしょうか。そのままですねそうするとビーム要素のところがそのままってことですね。
2:23:37	そうすると、今の流れでいうと、
2:23:41	漂流物対策も同じように151ページ目にところに、
2:23:46	これは書いてありますけど、
2:23:48	プール症例の北井酒匂の、
2:23:51	基礎スラブの応力、これは、今、兵藤飯塚酒匂地震のスラブは、
2:23:58	今平面要素でやってるという話だと思いますけど、この能力はという、どういうふうな形で出されたものですか。
2:24:06	中国電力の織田です。来漂流対策を記載する基礎スラブにつきましては、平面ひずみ要素でモデル化してるので深さ方向に、要素が何個かあるようになってます。
2:24:17	衛藤ダム力を出す際にはその要素の戸田魅力を合計して、評価するようにはしています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:24	いや、そうすると、各要請出てきてる応力をそのまま足し込んでるっていうイメージですか。
2:24:31	はい。そのような認識でございます。そうですか。その辺
2:24:35	特に漂流物対策の基礎のところ4メートル、4メートルありますよね。それで今、扉の下のところは、梁を張り要素でやってそれは2メートルの
2:24:49	ものはそれや、やってるわけですけど、
2:24:52	そのモデルカー方法としてその部分で、若干その評価の仕方が違ってると思うんですね。
2:24:59	扉の下の考え方について平面要素で、
2:25:06	やった理由、その辺をきっちり説明していただいた上で、
2:25:12	こういう評価をしたっていうことをどこかへ記載していただけないかなと思ってるんですけどいかがでしょうか。
2:25:19	中国電力の宇田です。承知いたしましたアノ大島ピラーの基礎スラブが1.5メートルの厚さなんですけども、教育対策コウノ圧は4メートル、
2:25:28	この埋め込みの影響というのを、適切に評価するために、今回平面ひずみでモデル化したんですけどその辺の理由をきっちり記載したいと思います。
2:25:45	基本的にソリッドでやってるものをそういう形で評価してるので、やっぱりその辺の出し方をきっちり書いといてください。
2:25:54	よろしく申し上げます。承知いたしました。
2:25:57	圧倒、補足資料の6番目のところの共通ですけれども、
2:26:03	これ基本的に扉の荷重という扉に、
2:26:09	当たった、1人ずつ当たったりとかしたときの荷重は、アンカーボルトを通じて、躯体側に
2:26:19	ごめんなさい、枠にまず荷重が伝わって、その下枠を支えてるアンカーボルト伝わってきたように、
2:26:29	荷重が加わって二重もつというロジックになるわけですよ。
2:26:34	その場合の耐力の評価は、基本的にはアンカーボルトで決まってるっていうのが実態になってるということですか。
2:26:44	はい。地震時につきましては、アンカーボルトの照査ということで、アンカーボルトの方を紹介させていただいてます。津波につきましては、津波につきましては、
2:26:55	押さえつけられるということで、
2:26:57	先ほどの頭あたりですか、の方を評価させていただいているということですよ。そうですね。それを、それを受けてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:05	躯体の開口まま開口周りっていうか、扉周りのところっていうのは、
2:27:11	どのような形で配筋を決めてらっしゃいますか。
2:27:24	扉がアンカー打たれてるところのイタイガワの、最近で特別、
2:27:32	具体的にどこにも説明はないんですけども、
2:27:39	はい。
2:27:40	中国電力のセイキです。
2:27:43	補足説明資料の、
2:27:47	どちらがいいかすいません今、
2:27:50	開いたのが④の資料の方でした。④の資料の、
2:27:54	124 ページ。
2:27:56	お願いします。
2:28:10	はい。アンカーの評価につきましては今、
2:28:13	124 ページの方で上部支承アンカーの方見ていただいております、その次のページ 125 ページで、コンクリートのせん断ということで、評価を行っておりますで、この周りの鉄筋の配置が、
2:28:25	特別どのようになってたかというのは、すいません今資料持ち合わせていないんですが
2:28:31	また図面等を充実する中でこちらの方もつけさせていただきたいと思えますのでちょっと、基本的にイタイガワの干田で持っていることだと思えますけど、それを伝えるにあたって、
2:28:43	どういう廃棄認知されてるのかってのはどっかでわかればいいなと思うんですけどいかがでしょうか。
2:28:51	中国電力のセイキです。承知いたしました。はい。よろしく申し上げます。
2:28:56	それから補足資料の 122 ページ目のところ、
2:29:10	モデル化のところなんですけども、
2:29:20	越冬モデル化の概念の説明のところ、特に
2:29:26	漂流物対策工は協力対策でこうやります、扉のところはこうやってやりますって書いてあるんですけど、
2:29:35	これがそう、まあいろんな場所で、相当隣接してあるような、
2:29:41	ところがありますよね。例えば、
2:29:45	おばあさんのところかな。
2:29:47	重なってルーような、
2:29:51	重なりつつあるようなところかなとか、あるんですけど、
2:29:56	これが並行してあるようなところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:00	51 の部分は、プール分対策工でこういう貿易
2:30:07	それから扉の方で、こういう防疫っていうになるかなあとと思うんですけど、ちょっと今、具体的にどこかってのはちょっと今ピックアップできてないんですけど。
2:30:19	間というのはどういう考え方になりますか。
2:30:23	広域のところは当然、もう応力は、後のところについては、
2:30:32	同じ応力だっというスタンスだと思いますけど。
2:30:36	そこを隣接する間のところの要素の部分っていうのは、
2:30:42	どういう扱いをするんですか。
2:30:54	中国電力のセイキです。少し確認させてください。今、ご質問いただいたのは、
2:31:00	漂流物対策コウノ、
2:31:03	平面ひずみでモデル化しているフーチングと、その上に張り、梁でモデル化しているもので、どちらの
2:31:14	扉の方は、基礎、1.5メートルか2メートルのところ、5号、
2:31:23	梁要素を入れて、広域を設定して、そこに立ててるっていうイメージですよ。
2:31:31	はい。それから、隣接して例えば今の漂流対策工があるよ、ところがまたリース。それ、そのすぐ隣隣接して漂流物対策コウノ。
2:31:45	基礎が4メートルあって、はい。その4メートルの上のところは、
2:31:52	マターは、
2:31:54	はり要素を入れるんですか、それとも、
2:31:57	はり要素入れてるんですか。
2:31:59	漂流物対策工のところは、梁要素でモデル化しております。基礎はもうその平面要素を入れてるだけってことです。そうですね基礎は平面予想入れているということですね。そうすると、
2:32:12	今5駅の設定をしているっていうのは表示対策これ書いてある。この部分っていうのは、
2:32:20	すいません、あと漂流物対策工の方はですね5域の設定という表現が少し適切ではありませんでした。
2:32:28	縦壁を剛な張りでモデル化しているというものでございまして、
2:32:35	こちらの方に広域の設定のことを記載させていただいておりますのは、仮にこれをビームビームでモデル化したとしても、広域の設定と、
2:32:45	詳細値は遜色ないものをしておりますということを説明させていただくために記載しているものでございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:52	少し説明の方が悪かったというか、わかりよかったですかそういうことです。
2:33:07	わかりました。はい。丹さん、その辺。うん。そうですね。その辺の扱いの仕方がやっぱり、
2:33:13	ちょっとわかりにくいので、ちょっとその辺の説明を入れてください。よろしくお願いします。以上です。
2:33:21	もう一つだけ、すいません追加で、602 ページ目に、所新居。
2:33:27	はい。
2:33:28	河内町、榎前田です。
2:33:32	縮小した時の開口補強範囲の話か。
2:33:36	書いてあるんですけども、
2:33:38	これ、赤字で書いてある背景。
2:33:47	この開口部に伴う背景図ってこの配筋は、
2:33:52	開口を小さくしたときに、
2:33:55	その部分を配筋をし直しをしてるってことですか。
2:34:00	中国電力のセイキですその通りでございます。そういうことですか。
2:34:05	解雇戒告胸襟の定着の長さ部分まできっかりと、
2:34:11	書き換えて拝見をし直したってことですね。
2:34:20	それから、
2:34:22	中国電力のセイキですこれから穴をあけるといものではございませんで、こちらの方新設するものでございます。よろしいでしょうか。はい。
2:34:33	多重鋼管ぐいと、その周りの皮膚コンクリートと、それに少し穴を開いた扉をこれから作るってことですね。わかりました。了解です。はい。すいません、公開しました。すいません。ありがとうございました。
2:34:52	規制庁の江崎です。ちょっと私から事実確認なんですけど、補足説明資料の6番の資料ですか。
2:34:59	49 ページの表 3-2-1。
2:35:03	の政党高さのちょっと事実確認したいんですが、
2:35:07	水頭高さ、
2:35:09	D、
2:35:11	上の図に、3-2、2-1 ですか。
2:35:15	こっちで言うと、いわゆるEL14.65 と一番高いと書いてあって、
2:35:21	地上面の 8.5 メーター、この差分かなと思ってんだけど、それだと、
2:35:26	5.15 ならないですよ。
2:35:30	6.15 じゃない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:32	でさ、そもそも、14.65 って、12.6 の、多分半分。
2:35:39	イデハッタ、要は進行はというちょっと置き換えて、
2:35:42	し、水深係数 3 倍かけたのが重要というところ。
2:35:46	理解しててだから、それを水通ってるんだと思うんで、そこで言ってる浸水深的なイメージのものが、水の深さ、
2:35:54	実際の水の深さじゃないんですけど、ただスイトウって書いてるんだと思っていて、そうすると、なんかね、1 メーターのような気がするんですけど。
2:36:03	これは何か書き間違いじゃないかと思うんだけど。
2:36:06	違いますか、私が言ってんの間違いか。
2:36:10	うん。
2:36:11	はい。中国電力のセイキです。某排気塔と同じ設定という意味では 8.5 メーターからの高さというところでは、その通り、おっしゃる通りと思っております。で、
2:36:23	今回扉をつけるに当たりまして棒廃棄、
2:36:27	に扉枠を設ける関係で、1 メーター高いところにこの扉つく予定になっております。
2:36:35	そういった関係で 9.5 メーターからの
2:36:39	差分ということで 1 メーターアノを防波壁の設置の 8.5 から上がっているというような表現になっていると。これってそうか。
2:36:47	その地上面じゃなくて 9.5 メーターからの差分ということか。わかりました。
2:36:53	なるほどね。
2:36:54	ちょっと勘違いそうな感じがするから、言われてる、その荷重の間だよね。はいはいはい。
2:37:01	うん。
2:37:03	うん。何か図、ちょっと理解できなかったから、
2:37:07	聞いたんだけど、間違いはないということで安心しましたが、一応あれ、何か引き込みずるしでも何か補足で 1 人でといえはわかりやすいかなと思いますけど。
2:37:17	承知いたしました。冷静にもっと良く考えればわかることかもしれないですけど、
2:37:22	それはちょっと書き足していただいてあとわかりにくいなと思ったのが、
2:37:26	例えば 5 を 359 ページ他のところ前の方のページでもあるんですけど、
2:37:32	解析ケースって、多分、他の施設とちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:35	表現の仕方が違ってて、
2:37:38	なぜかっていうと、
2:37:39	元の赤字なんだろうっていう話で 446 ページ行くと、さっき説明があったように、
2:37:45	ノース設計震度を割り増しし、付加してっていうか割り増ししてやっていて、
2:37:51	そのあとから何か始まるんですよ。例えば、
2:37:58	例で言えば 461 ページとか大体 0.5 を下回る小さなごみみたいな数字だけあんまり気にしなかったんですけど。うん。こういう大きい数字があつて、このケースは別に、
2:38:09	選定は、僕ら的にはなってると思うんだけど、
2:38:13	いわゆる最初の、
2:38:16	ケースの考え方って、
2:38:19	他の施設とちょっと違うんですよ。ワンクッションあつて、いわゆる 2.1 とかそういうふうな数字があつて、始まるので、
2:38:26	ちょっと、何でこんな話になってるのかちょっと理解が初め、頭が追いつかなかったんですけどよくよく見ていけばわかる話ですけど、これって、実際に 359 ページ。
2:38:37	でやってのものとそういう扉の施設は、多分あれですよ。
2:38:43	メーカーさんが設計してるから、あとだと、
2:38:48	設計が変わらないように、かなり
2:38:51	大幅に 2.1 とかやってるんだと思うですよ。
2:38:55	なのでそこはちょっとわかりやすさの観点で多分 359 ページとかその辺で、
2:39:00	いわゆる水密扉はこうしますよと。
2:39:02	それ以外のものの下は、これしますよとか、仕分けした方がいい。わかりやすい形親切だなとは思うんですけどね。書き方として、
2:39:11	中国電力のセイキです設計を震度で評価するものは割り増しをしているということがわかるように、こちらの方に記載させていただきたいと思います。
2:39:27	はい。規制庁、池田です。他、何か。はい。
2:39:36	規制庁津川です。⑥の資料の 6 ページなんですけれども、
2:39:41	概要のところ、津波防護施設である防波壁通路、
2:39:47	防波扉の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:50	のについて、設計用地震力に対して十分な機種構造強度を有してること を証明するものであると書いてあるんですけども、
2:39:58	扉自体はSクラスではないんです。
2:40:05	中国電力のセイキですこちらSクラスの扉になります。
2:40:09	規制庁津川です。69 ページの、
2:40:14	荷揚げ場ミナミの扉のところについては、もう明確に最初からSクラス施 設であるって書いてあって、基準地震動Ssに対すると、
2:40:23	いう設計 67 ページの概要の方では基準地震動Ssに対してと書いてあ って、
2:40:29	1号2号の方の書き方をされると、クラスが低いんで、BクラスCクラス の設計地震力で設計してるかのように思ってしまったんですがそういう わけじゃなくて、
2:40:39	同じであると。
2:40:40	であれば、書き方を統一していただきたい
2:40:43	他のですね耐震の計算書でも、書き方としては、
2:40:48	荷揚場ミナミ的な書き方をしたと思うんで、ここちょっと統一していただき たいと思います。
2:40:53	中国電力のセイキです。失礼いたしました基準地震動Ssで評価を行っ ております。
2:40:59	他のものと比べ、同じようにSクラスでということを追記させていただきます す。
2:41:05	規制と通です
2:41:07	これも記載ぶりなんですけれども
2:41:09	1号2号のほうの扉については配置概要というのが書いてある。
2:41:13	そのあと構造概要ということで、どちらかっていうと、機器の、
2:41:19	耐震計算書に近い書き方されていますで、一方荷揚げ場ミナミとか、最 後の東については、ちょっと書き方が違ってるので、
2:41:29	もう、そもそもこの
2:41:31	設計の扉について、担当がおそらく建築の後の方だと伺っているんです けれども、
2:41:38	ほとんどの統一っていうのは、土建もそのはい綺麗もあまり変わらな くて、こいつすべきかなと思うんですけどこの辺、どのようにこの横の連携 とられてるんでしょうか。
2:41:48	はい。中国電力のセイキです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:51	扉であるので所掌がどこというふうには決まっておりませんで、今回のものについては我々土木のグループで
2:42:02	宮川ミナミの扉も12号北側の扉も担当させていただいております。12号北側の扉がその他のマキカワといいますか水密扉寄りであるのは、
2:42:15	こちらの構造がですね、水密扉の構造と同じ扉をつけるという方針で設計の始まってきたというところもありまして当初としても、同じたてつけのほうがりわかりよいかと思ひましてそのようにさせていただいております。
2:42:30	規制庁ツガネです当初の構成については理解しました。
2:42:33	続いて、18ページなんですけれども、
2:42:37	1号2号の扉について、
2:42:40	扉閉止時と開放時と両方、こういう振動数ん止めてるんですけれども、
2:42:46	一方式、荷揚げ場ミナミとかですね、3号東については、閉止時のみと。
2:42:54	で、
2:42:55	もともとですね3号東とか宮川南の方っていうのは、多分その護岸に上がってきたものを搬入するときに使われる。
2:43:04	という理解でよろしいんですかね。
2:43:07	中国電力のセイキですアノに役場も3号東も開閉することがございまして、一時的に開けるものであるというものでございます。
2:43:17	それは規制庁鶴ですけどもそれは人の出入りだけではなくてもので会議もあるということで、12号とはちょっと役割が違うという理解でよろしいですか。
2:43:34	そうですねはい。
2:43:36	スライド式のものかヒンジでアノから開けるようなものかという構造の違いもありますが、荷物の搬入というものもあるという扉でございます。
2:43:46	規制庁ツガネとそういう意味では、12号の方が1の定義だけなんで、
2:43:52	ケールである時間ってほとんどないんじゃないかと思ひます。一方荷揚げ場ミナミとかについては、あけてある時間が結構あるんじゃないかと思う。
2:44:02	僕は思っただんですけれども、そうすると、むしろその荷揚げ場ミナミとか3号東の方の開閉時の、
2:44:09	こういう振動数とかも考えなければいけないんじゃないかと思っただんですけどその点いかがですか。
2:44:16	中国電力のセイキです。固有振動数という意味ではヒンジになっているところで、ボタンボタンするようなことを考えて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:26	12号の方は
2:44:28	こういう振動数ということで開けたときも閉めたときもということに記載させていただいております。値上はミナミと3号イワサのスライドする飛びらーということで、
2:44:38	こういう振動の方は特に、開けたとき閉まった時で変わるようなものではないと思って扉閉まった瞬間に記載させていただいているということです。
2:44:49	規制庁津川です津波が来たら当然閉めるとは思うんですけども実施に対しては、その網を開けた状態での
2:44:58	状態で地震を受けるってことも当然あり得るんで、今この説明書では、閉状態のみ考えてるとしてんですけども、書いてあってもその点、地震が来ても問題ないんだっていうことは、
2:45:08	説明ができるということでよろしいですか。
2:45:13	中国電力のセイキです。
2:45:15	宮川ミナミにつきましてははですね、現状の設備で、今記載させていただいてる内容で、会するときも、耐震性、
2:45:25	十分あることの確認、説明できると思っておりますが、3号東の方につきましては、開いた時というご説明をしようと思うと、
2:45:34	の、耐震性という意味では一部、
2:45:38	補強が必要なところもあり、
2:45:41	説明させていただくということになろうかと思えます。
2:45:45	規制庁津金です。わかりました。では、多分補足になると思うんですけども、
2:45:51	それぞれの扉の運用と、地震時における
2:45:55	会議、会議平価いい状態の時と閉状態の時の評価については、どういう考え方してるかっていうのちょっと説明を追加していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
2:46:08	中国電力のセイキです。はい。承知いたしました。
2:46:17	規制庁ツガネ実アノ局のときの審査で、この津波の時にその扉の運用をどうするかっていうのは議論した記憶があって、
2:46:26	津波警報が来たら即座に閉めるとかですね、
2:46:30	荷揚げ場から、
2:46:31	開けてあけてあった場合でも常にその管理員とか監督者が行って閉める、すぐ閉められるような体制をとるといような説明があったかと記憶してるんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:42	そういうのも含めて、どういうふうなことで、
2:46:46	津波に対する機能を担保するかといったところは説明していただきたいと、今日加治野瀬説明資料というのがあればそれを見せていただければそれで結構ですのでよろしくお願いします。
2:47:01	規制庁の江寄ですけども、
2:47:03	基本的に、常時閉運用と言ったならば関西電力も含めてすべてですけど、
2:47:10	開けたらすぐ閉めるか。
2:47:11	損害、ちゃんと人がついていう話で、もうね、通過したらすぐ閉める作業があるか、なかろうが占める。
2:47:19	必要がなければ出なければ、問題になるのは、高浜作業と同じで、
2:47:27	津波、津波へのだけ。
2:47:31	津波警報とか津波警報がなかったとしても来る津波、
2:47:36	ていう検討しなきゃいけなくなります。
2:47:38	そういった観点から多分基本的にははっきり記憶はもう薄れてきてはいるけど、ここへ運用ということで、あけたら閉めるという話でそれは変わりがないということで今、事実確認したんですがそれでよろしいですか。
2:47:54	中国電力のセイキです。常時閉運用という考え方に変わりはございません。
2:47:59	これは当然、
2:48:00	地震警報とかあれがあれば閉めることにはなるかもしれませんが、それはまあ、
2:48:06	それをトリガーにして閉めるっていうことじゃなくて、開けたならばすぐ閉めるっていうことが、
2:48:12	基本的な原則で、
2:48:15	閉運用ということで理解しました。
2:48:26	規制庁の服部です。今の話に関連してちょっと1点だけ確認します。
2:48:33	私の認識では、
2:48:35	扉を開いた状態では、
2:48:37	頻度が低いので、地震を想定してない。
2:48:41	という理解をしています。
2:48:43	もし開いた状態で地震を想定してるのであれば、受けたは、波及的影響にならないので、
2:48:50	というふうな理解をしてるんですが、
2:48:53	その理解って正しいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:58	先生。中国電力のセイキです。常時運用ということで当初の方でも閉まった状態を評価させていただいております、
2:49:07	その開いた状態を評価というのがどういった位置付けの評価になるかというところですが、あくまで確認ということで、確認させていただくようなものかなと思っております。
2:49:19	規制庁の服部です確か許可の時もう、この受けたって、どういう位置付けなのっていうのを多分確認したと思うので、
2:49:27	それによっては多分この位置付けが変わってきちゃうかもしれないので、そこら辺はよく、
2:49:33	考えて、説明をしていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます以上です。はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。設置許可でも、
2:49:43	一度お話をさしていただきましてここは設備ではないという説明をしてたと思えます。で、
2:49:50	ただ
2:49:52	まとめ資料等にそういった記載は確かなかったと思っておりますので今回明らかにしたという整理になっております。以上でございます。
2:50:04	はい。規制庁の千明です。他、何か確認する点ありますか。
2:50:15	さっきちょっと勘違いしないでいただきたいのは、運用としては、その常時運用という定義を申し上げさせていただきましたけど、そうじゃないんであればどういうことになるかっていう。
2:50:27	田澤さん用のサイレン面みたいな話があるということでお話ししたんですけど。
2:50:32	実際耐震設計とか行った時に一番困ることは、
2:50:36	たまたまあげて、地震が遭遇してしまった、扉が閉まらなくなっちゃったと。だけど津波警報は、そのあとやってきたという話になったら一番困るわけですね。だから、
2:50:49	ただ、設計としてね。
2:50:52	深井。
2:50:54	状態と運用とは別なんですけど、開状態ってのはあるわけなんで、開状態と閉状態。
2:51:00	それを考えた時に設計が、その閉状態で、
2:51:04	基本的に安全包絡できてるから、開状態を設計しませんっていうんだったら省略できますっていうんだったらわかる。
2:51:11	それ以外であると部位的にそれは評価しなきゃいけないっていうんだったらまたその、いわゆるイシイを受けて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:19	Noへん閉止することができなくなるっていうのは、もう最悪のシナリオなんで、
2:51:24	基本的にはそれは検討しなきゃいけないと思いますんで、それも踏まえた上で、その辺の最終回答はしていただきたいと思います。以上です。
2:51:35	はい。中国電力の鹿島です。承知いたしましたの運用の面と設計の面を切り離してしっかり考えるべきだと認識いたしましたので、こちらについても今後持ち帰ってですね、改めて検討した上でご報告させていただきたいと思います。以上です。
2:51:50	はい、栗田チギラです。他、何かありますか。
2:51:57	すいません会費は規制庁ツガネですけども、2億。
2:52:01	荷揚げ場ミナミと3号東野、防波壁については黒須口っていうのは、エンドウなんでしょうか。
2:52:11	中国電力のセイキです電動の駆動装置がついておりますが手動でも閉めることができるということを設置許可段階からご説明させていただいております。
2:52:23	規制庁ツガネたの。
2:52:25	今確認したかったのは、動的機能維持が求められるところかどうかっていうところも、
2:52:30	話として出てくるんで、その点ちょっと
2:52:34	首藤でも調べられるのでそこは問題ないんだ、説明であればそういう説明でもいいと思いますけどもちょっと
2:52:41	そういう動的機能維持の観点からもう少し説明が必要と説明していただく必要があるかなと思いますのでちょっとコメントしました。以上です。
2:54:23	ただツガネの方が気にしているのは、いわゆる動的運用だとしたら、直でも動的運用であるのであれば動的機器で扱ったりであるのであれば、
2:54:34	重要な施設、Sクラスを守るもので動的機器っていう形であるのであれば、25 多重防護とか、
2:54:43	安全、安全ん施設としての位置付けってのは高浜でついちゃっているんで、同じ扱いすると、電気系統とかああいう制御系統が、
2:54:53	多重性を求められるクラス卵巣というふうにしてしまうとそういう付けになるので、
2:54:59	そうすると、多分、常時、
2:55:01	閉運用なんだけど動的機器っていう新たな実績ない機器が出てきてしまうのでそこは議論として、どう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:08	考えるべきかってのはまた考えなきゃいけないので、その辺ははっきりしていただきたい。そういう二つの側面があって、お話をさせていただいてます。
2:55:22	規制庁津川です先行例ですと東海第2号同様に、防波扉の
2:55:28	機構のところについて、
2:55:31	安全性高めてるとMSはソートみたいな設計をしているというようなことで、工事計画だったと思いますので、一方こちらの方は、そうではなくてということで、日下というとセンコーの翁長と近いということであれば、
2:55:43	そういった説明をまたしていただきたいと思います。よろしく願います。
2:55:46	はい。中国電力ヨシツグでございます。改めて運用のところと積のところですね。
2:55:52	ご説明をまたさしていただきたいと思います。以上です。
2:55:56	はい。規制庁の千明です。よろしいですかね。
2:56:05	すいません。
2:56:06	規制庁の館でございますけれども、6番目の資料の、
2:56:12	すみません230ページのところに、
2:56:18	図の2ポツ2-1。
2:56:21	荷揚げ場ミナミの防波扉の構造概要図。
2:56:26	ていいうのがあるんですけど、
2:56:28	すいません要は新しく漂流物対策工を、を作るところについてはMMRで立ち上げて基礎スラブを作ってガチガチに固めて作りますよっていうところ。
2:56:42	防波扉とかそこら辺の額もしくはその周りの躯体構造を作る場合は、
2:56:51	杭が打ってある周りを地盤改良して固めますよっていう考え方でよろしいですかね。
2:56:58	はい。
2:57:00	そうすると、この図でいくと右っかわの防波壁逆T擁壁の下は特に何もオチしないですよっていうところ。
2:57:10	多重交換式。
2:57:14	擁壁の方もその下は何もしませんよっていうことでもいいですかね。
2:57:20	そうすると、防波扉の奥側のところの
2:57:25	戸あたりのところの壁みたいなところは下はこれは固めてるっていう感じ。
2:57:34	この人は固めてない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:36	そういうこと。
2:57:40	うん。
2:57:41	そうですね。だからそういった意味ではここ、
2:57:46	ということでもいいですねで、片やね、326 ページの、
2:57:51	図 2.2-1 の 3 号機東側の構造概要図見ると、
2:57:59	表現物対策工の下はMMR立ち上げて基礎スラブ使って固めて捨て扉の李は、
2:58:07	そうなのかこれ、逆Tの下も海底地盤で固めてんの、全部。
2:58:11	こちら辺は、
2:58:13	これずーっと
2:58:15	どっか 1 部分だけ。
2:58:21	中国電力のセイキです。すいません、荷揚げ場ミナミの方もですね逆転擁壁の下は改良地盤で固めてまして、逆T擁壁は改良地盤に支持されているという、全線、そのようなものになっております。
2:58:36	でちょっとねこちら辺なあれ結局時ん地べたの中道 10 メーターなかったら、
2:58:43	そのなんかどうなってんのかって話になっちゃうと、
2:58:46	そこら辺がよくわかるようなところも図に加えていただくっていうのはいかがですかねーここはやってるやってない固めるで固めてねここはあの、
2:58:56	鋼管杭が刺さったままで何か埋め戻しのままですよみたいな話があつてそれがどこの範囲までやってますよみたいな話なんていうのが、
2:59:05	ちょっとねすいません気になったりするんで、ちょっとそういうものがあつた方が何かわかりやすいんじゃないかなって気がするんですけど。
2:59:14	いかがでしょうか。
2:59:24	ちゅ。
2:59:42	すいません言わんとするところはわかるかと思うんですけども、どう、別のところの、再度杭構造に何か或いは残置物なんだけど、
2:59:54	今回の場合わざわざつくる施設としての登録をおそらくするこあれ施設の登録はしないのかごめん、構築物なるか、MMRはこっちですか。
3:00:06	地盤だね、地盤でね、ちょっと地盤の硬さの違いとかがあるんですよってそういうのが当然影響ないんですよってところはあろうかと思うんですよ。はい。
3:00:16	いや、場合によっては、どっかで何かいろいろと意見を取るようなところも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:22	あるかもしれないですし我々の方もやはり今までちょっと関心があるところもあったんでそういったところも、
3:00:29	特に影響があるなしっていうところについて影響ある何らかの対策をするんですよっていうところがわかるようなものを作って、示していただきたいと思うんですけども。
3:00:38	中国電力のセイキです補足説明資料の⑥の 327 ページをお願いいたします。
3:00:47	はい。こちら逆T擁壁の下も地盤改良を行うということを記載させていただいております最初に荷揚げはミナミの 3 次元のパーツを見ていただきましたが、
3:00:59	その逆転擁壁の下側の改良地盤ということで色が塗られてなかったということもあって、わかりにくかったかと思います。今回、周辺の地盤と、
3:01:10	御説明に加えるようにというコメントをいただいていると思っておりますので、記載の方、周辺のものも含めて、わかるようなものをつけさせていただきたいと思います。
3:01:31	中国電力の柏です承知いたしました例えば地中でスライスを切ったようなもので、基礎の広がりが見えるもの、
3:01:39	お付けするのも一つの示し方かと思いますので、そういったちょっと工夫はさせていただきたいと思います。以上です。
3:01:58	はい。規制庁チギラです他よろしいですかね。
3:02:01	中国電力側から何かありますか。はい。中国電力の鹿島です。本日ですね大変やっぱりこちらの資料のちょっと作り方が、
3:02:11	ちょっと丁寧でなくてですねモデル化の考え方でありましてか、図面の方が十分なものをおつけしていただいていたためですね、たくさんコメントいただいたものと認識しておりますので、
3:02:23	ちょっと今回の反省踏まえてですね次回はしっかり、この辺り、設計の考え方を含めてですねわかるような形で資料充実させていただきたいと思います。申し訳ありませんでした。
3:02:34	はい。
3:02:35	ではよろしく願い今回し、新規というかですね、
3:02:41	このて施行というのもありましたので、それはそれで今おっしゃられた通り、
3:02:50	資料の方ですね、充実していただければというふうに思いますので、よろしく願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:57	送らなければ、それでは本日のヒアリングの方、終了いたします。ありがとうございました。ありがとうございました。
---------	--

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。